

# 市原市祭り野遺跡（第3地点）

2019

株式会社WIND-SMILE  
市原市教育委員会

# 市原市<sup>まつ</sup>祭り<sup>の</sup>野遺跡（第3地点）

2019

株式会社WIND-SMILE  
市原市教育委員会

## 例言・凡例

- 1 本報告書は、千葉県市原市潤井戸字祭り野 2277 番 7 に所在する祭り野遺跡（第 3 地点）の発掘調査報告書である。
- 2 発掘調査は、太陽光発電所変電設備設置に伴い、株式会社 WIND-SMILE の委託を受け、千葉県教育委員会の指導のもと、市原市埋蔵文化財調査センターが実施した。
- 3 発掘調査は、開発範囲 1,198.5 m<sup>2</sup>のうち、586.77 m<sup>2</sup>を対象として実施した本調査である。これは、平成 30 年度に市原市の国庫補助事業として埋蔵文化財調査センターが実施した 119.76 m<sup>2</sup>の確認調査の結果を受けたものである。
- 4 発掘調査・整理作業は、以下のとおりに行った。  
確認調査 平成 30 年 8 月 27 日～平成 30 年 9 月 19 日 担当 小川浩一・中野喬介・齊木 誠  
本調査 平成 30 年 10 月 30 日～平成 30 年 12 月 21 日 担当 齊木 誠  
整理作業 平成 30 年 12 月 25 日～平成 31 年 3 月 26 日 担当 齊木 誠
- 5 本書の執筆は齊木 誠が行った。
- 6 祭り野遺跡（第 3 地点）の調査コードはセ 563（確認調査）・セ 565（本調査）である。
- 7 出土遺物と記録類は、市原市教育委員会ふるさと文化課埋蔵文化財調査センター（千葉県市原市能満 1489 番）で収蔵、保管している。
- 8 整理作業では、石製品について田中大介氏（袖ヶ浦市教育委員会）に、ガラス小玉について斎藤あや氏（大田区立郷土博物館）にご助言を賜った。記して謝意を表したい。また、出土遺物整理では櫻井敦史、小橋健司の協力を得た。
- 9 土層説明における粒（小）は 1mm 大未満、粒（中）は 1mm～3mm 大、粒（大）は 3mm 大以上の粒子を示す。
- 10 遺物実測図における網掛けと●は赤彩部、←□→は研磨痕範囲、←○→は敲打痕範囲、←○○→は強い敲打痕範囲を表す。
- 11 本書内において、（ ）を付した数値は残存値、？を付した数値は推定値を表す。
- 12 遺物写真（図版 7・8）の縮尺は基本的に実測図に準じ、例外は注記した。

## 本文目次

1 調査に至る経緯	1	3 調査の成果	1
2 遺跡の位置	1	4 まとめ	8

## 挿図目次

第 1 図 祭り野遺跡(第 3 地点)及び 周辺遺跡位置図	2	第 7 図 SI004 平面図・断面図	13
第 2 図 調査区全体図	3	第 8 図 SI005 平面図・断面図、 SK001・SK002 平面図・断面図	14
第 3 図 SI001 平面図・断面図	9	第 9 図 SK003～SK011 平面図・断面図	15
第 4 図 SI002 平面図、 焼土・炭化材出土状況平面図	10	第 10 図 SI001・SI002 出土遺物実測図	16
第 5 図 SI002 断面図	11	第 11 図 SI003 出土遺物実測図	17
第 6 図 SI003 平面図・断面図	12	第 12 図 SI004・SI005・SK004・SK007・SK008・ 調査区一括 出土遺物実測図	18

## 表目次

第 1 表 出土土器観察表	19	第 2 表 出土ガラス小玉・石製品観察表	20
---------------	----	----------------------	----

## 写真図版目次

図版 1	航空写真	図版 2～6	遺構写真	図版 7・8	出土遺物写真
------	------	--------	------	--------	--------

## 1 調査に至る経緯

株式会社WIND-SMILE(以下、事業者)は、工事に先行し、平成30年5月8日付けで文化財保護法第93条に基づく届出を千葉県教育委員会教育長宛に提出した。届出を受けて、市原市教育委員会(以下、市教委)が試掘を実施し、遺構と遺物を確認した。千葉県教育委員会(以下、県教委)は市教委と協議を行い、事業者が事業地内の発掘調査を指示した(平成30年6月25日付け、教文第11号の506)。指示を受け、事業範囲のうち119.76㎡を対象に、市教委が国庫補助事業として確認調査を行った。確認調査の結果に基づき、事業者と県教委及び市教委によって協議が行われ、協議範囲全面586.77㎡を対象に本調査が実施されることになった。

## 2 遺跡の位置

祭り野遺跡は、市原市域北部を東行し東京湾へと流入する村田川の支流である神崎川の流域に存在する。遺跡は神崎川右岸の、北西方向に張り出した標高約44mの舌状台地上に立地する(第1図)。神崎川流域では弥生時代中期から古墳時代前期の集落が集中しており、本遺跡より下流側の右岸台地上には、弥生時代中期から古墳時代前期の方形周溝墓群と居住域から構成される潤ヶ広遺跡(鶴岡他2006)と、弥生時代後期から古墳時代前期の居住域と墓域が確認された下鈴野遺跡(大村1987、土屋他2003)が存在する。また、左岸台地上には、弥生時代後期の竪穴建物跡が確認された東官台遺跡(高橋1994)が立地する。本遺跡より上流側では、左岸台地上に小田部新地遺跡が存在し、弥生時代中期の竪穴建物跡と中期から後期の方形周溝墓群が確認された(山口1984)。右岸台地上には、弥生時代後期から古墳時代前期の集落が確認された小田部向原遺跡(荻作遺跡群)と、弥生時代終末期頃の陸橋をもつ円形墳墓である小田部古墳が立地している(杉山他1972、大村1991)。

## 3 調査の成果

### (1) 調査概要

祭り野遺跡は、昭和52年に送電線拡張建替工事に伴い約340㎡が調査されている(第1地点)。その際、縄文時代の土坑と弥生時代終末期の竪穴建物跡1棟、古墳時代中期の竪穴建物跡3棟、古墳時代後期の竪穴建物跡3棟等が確認された(祭り野遺跡・山王後1号墳発掘調査団1982)。また、未報告だが、平成28年にも送電鉄塔建設に伴い19.36㎡が調査され、弥生時代後期後半から終末期頃の竪穴建物跡が検出されている(第2地点)。今回の調査区は、舌状台地付け根部分の南側に位置する(第3地点)。本調査範囲は西調査区と東調査区の2箇所に分かれる。

検出した遺構は、縄文時代の土坑1基、弥生時代終末期頃の竪穴建物跡3棟と同時期の土坑1基、古墳時代前期の竪穴建物跡2棟と同時期の土坑1基、時期不明の土坑8基である(第2図、図版2)。

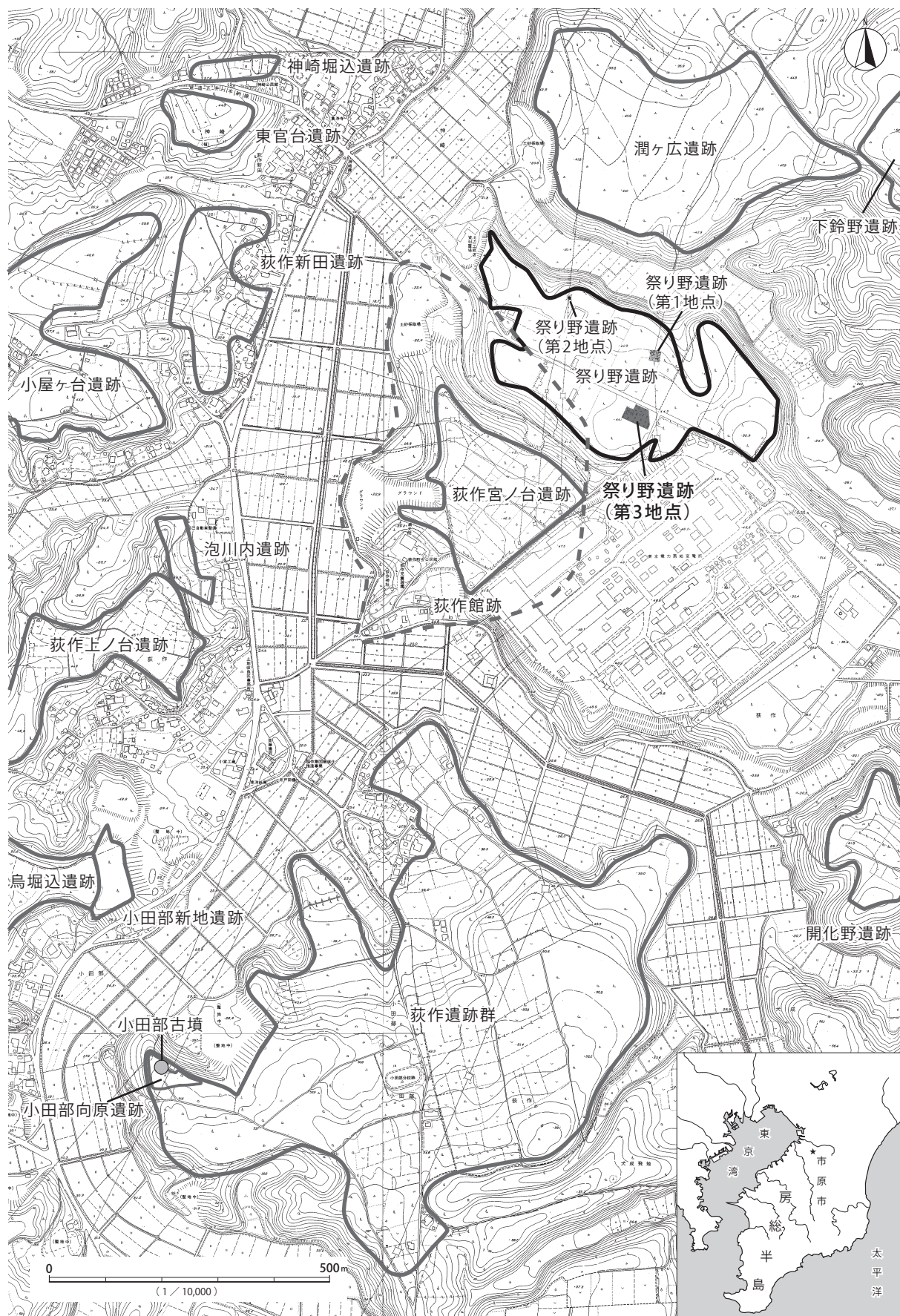
### (2) 遺構と遺物

#### 竪穴建物跡

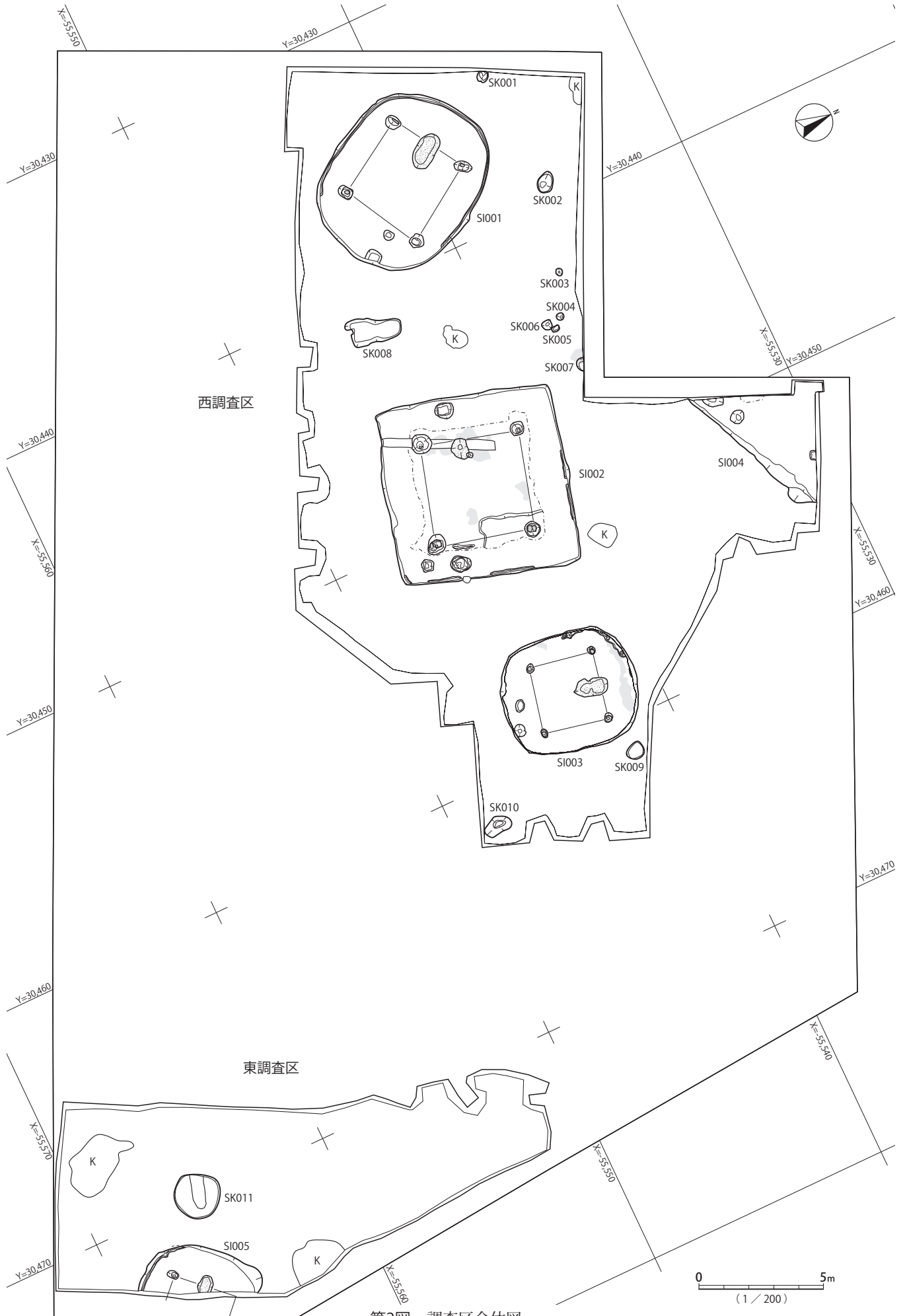
##### SI001(第3図、図版3・4)

形状：楕円形 規模(上端)：(長軸×短軸)7.25×6.00m 深さ：約0.45m

床面積(壁溝含む)：33.83㎡ 主軸方位：N-31°-W



第1図 祭り野遺跡(第3地点)及び周辺遺跡位置図



第2図 調査区全体図

西調査区の西部に位置する。竪穴建物の南東側は建物築造以前に存在していた風倒木痕を掘削して壁と床面を構築している。床面は風倒木由来の黒褐色土部分を除いて硬化面が残存するが、根による破壊を受けており、遺存度はやや悪い。壁溝は建物の南東側を除いて巡る。炉はP1とP4のほぼ中間に位置し、長軸1.5m、短軸0.8m、深さ約0.22mの楕円形を呈する。焼土が10cmほど堆積し、炉底面のソフトロームは被熱により硬化している。焼土層上層には焼土粒を含む極暗褐色土が10cmほど堆積する。P1～4は柱穴であり、深さは、P1が1.11m、P2が0.97m、P3が0.94m、P4が0.98mである。P1・P3・P4では直径10～30cm程度の柱当たり（網掛け部分）が存在する。また、柱穴を覆う貼床が残存しており、床面精査時に明瞭な柱痕跡が確認され、土層断面においてもほぼ垂直の痕跡が検出された。なお、P4は板状柱穴である。内区（柱穴内側）は、約3.4m×3.2mの正方形に近い形状を呈し、面積は約10.9㎡である。P5は貯蔵穴、P6は出入口ピットと考えられる。

出土遺物は、覆土下層で弥生土器や石製品が15点ほどみられた（第10図、図版7）。また、未掲載だが、覆土上層では古式土師器が混入し、全体的に土器細片が多数出土した。1は壺形土器（以下、形土器を省略）であり、床面直上から出土した。胴部最大径から上側が欠損するが、破断面が摩耗しており、鉢に転用されたと考えられる。2も壺であり、床面直上で土圧により潰れた状態で出土した。胴部最大径から上側と底部が欠損する。12はガラス小玉であり、炉内覆土から出土した。直径は3mmほどで、淡青色透明を呈するが、一部赤褐色不透明のガラスが嵌入する。これは意図的なものではなく、ガラス玉製作時に混合したものと考えられる。

遺構の時期は、一部弥生時代後期（久ヶ原・山田橋式（大村2004））の土器が混入するが、出土遺物から弥生時代終末期（中台式期（大村2009））と考えられる。

#### SI002（第4・5図、図版4・5）

**形状：方形 規模（上端）：（長軸×短軸）7.30×7.27m 深さ：約0.23m**

**床面面積（壁溝含む）：50.156㎡ 主軸方位：N-69°-W**

西調査区の中央部に位置する。焼失住居であり、床面直上には焼土と炭化物を主体とする層が堆積する。上屋材と思われる炭化材が非常に良く残存し、一部は組み合った状態で出土した。壁面にもたれるものや板状の炭化材もみられる。おそらく、火災時に上屋が建物内に崩落したと推測される。床面は内区外縁から内側のみ硬化面が存在するが、被熱により遺存度は悪い。一部焼結した硬化面がみられる。北東側は硬化面が一段高くなり、ベッド状を呈している。壁溝は北辺と東辺の一部に巡る。炉はP1とP4の間に存在する。長軸0.85m、短軸0.65m、深さ約0.13mの不整円形ですり鉢状を呈し、P8が付属する。P1～4は柱穴であり、深さは、P1が1.05m、P2が0.99m、P3が0.99m、P4が1.01mである。いずれも直径10～20cm程度の柱当たりが存在する。また、柱穴を覆う貼床が残存しており、床面精査時に直径15～25cm程度の明瞭な柱痕跡が確認され、土層断面においてもほぼ垂直の痕跡が検出された。なお、P2とP3は柱当たりが2箇所存在する。上屋の修理あるいは建て替えのために柱を入れ替えたと推測され、双方とも北側の柱当たりが建て替え後に使用されたとみられる。内区は約3.95m×4.0mの正方形を呈しており、面積は約15.8㎡である。P5、P6は貯蔵穴で、いずれも方形を呈する。また、P6の覆土からは炭化材が出土した。P7は出入口ピットと考えられる。

出土遺物は、床面直上の焼土・炭化物土層内で古式土師器や砥石が15点ほどみられた(第10図、図版7)。また、一部弥生土器が混入し、全体的に土器細片が多数出土した。1は焼成前底部穿孔壺の小片であり、P6内から出土した。2・3は小型丸底系鉢である。焼土・炭化物土層内で細かく破碎した状態で出土し、二次焼成を受けている。5は小型器台で、横方向に細かなヘラミガキが施されており、非常に丁寧に製作されている。焼土・炭化物土層内で、器受部と脚部が別々の位置から出土し、破片化後に二次焼成を受けている。7は砥石であり、左側面等に強い研磨痕がみられる。

遺構の時期は、出土遺物から古墳時代前期前葉～中葉古相(草刈1式～2式古相期)と考えられる。

#### S1003(第6図、図版5)

**形状**：楕円形 **規模(上端)**：(長軸×短軸) 5.42×4.65m **深さ**：約0.35m

**床面面積(壁溝含む)**：20.843㎡ **主軸方位**：N-12°-E

西調査区の東部に位置する。床面の状態は良好で、硬化面が全面に残存する。また、建物の北辺と西辺の一部に焼土が堆積する。床面直上にあり、焼土内出土土器とその他の土器に時期差がないことから、廃絶後時を経ず堆積したと考えられる。壁溝は北辺と西辺に部分的に巡る。炉はP1とP4のほぼ中間に位置し、長軸1.5m、短軸0.8m、深さ約0.27mの楕円形を呈する。焼土が10cmほど堆積し、炉底面のソフトロームは被熱により硬化している。焼土層上層には焼土粒を含む暗赤褐色土が5cmほど堆積する。P1～4は柱穴であり、深さは、P1が0.92m、P2が0.81m、P3が0.78m、P4が0.74mである。いずれも直径10～15cm程度の柱当たりが存在する。また、柱穴を覆う貼床が残存しており、床面精査時に直径20～30cm程度の明瞭な柱痕跡が確認され、土層断面においてもほぼ垂直の痕跡が検出された。内区は、約2.7m×2.7mの正方形を呈しており、面積は約7.3㎡である。P5は貯蔵穴、P6は出入口ピットと考えられる。

出土遺物は、覆土下層で弥生土器や敲石等の石製品が70点ほどみられた(第11図、図版7・8)。また、未掲載だが、覆土上層では古式土師器が混入し、全体的に土器細片が多数出土した。1は壺であり、肩部以下が欠損する。炉の脇の床面直上で口縁を下に向け出土した。頸部の破断面がやや摩耗し、二次焼成によって外面の赤彩が劣化していることから、炉器台もしくは支脚として転用された可能性が高い。また、炉内覆土より、炭化米と思われる種実状炭化物が1点出土した(図版8)。

遺構の時期は、一部弥生時代後期前半(久ヶ原式)の土器が混入するが、出土遺物から弥生時代後期後半～終末期(山田橋式～中台式期)と考えられる。

#### S1004(第7図、図版5・6)

**形状**：方形? **規模(上端)**：(長軸×短軸) (6.62)×(4.00)m **深さ**：約0.36m

**床面面積**：(10.771)㎡ **主軸方位**：N-24°-W?

西調査区の北部に位置し、北西から北東側が調査区外である。遺構は確認面であるソフトローム層より上層から掘り込まれる。床面の状態は非常に悪く、硬化面は西側の一部のみ残存する。炉、柱穴とも未検出である。P1とP2は貯蔵穴であり、P3は出入口ピットの可能性がある。

出土遺物は、覆土下層で古式土師器が10点ほどみられ(第12図、図版7・8)、ほかに土器細片が少数出土した。4は高杯である。出土時は杯部と脚部が接合面から分離し、杯部はP2脇の床面直



上で口縁を上、脚部はP2の覆土中層から柱状部を斜め下に向け出土した。特徴として、脚柱部上半は中実で、裾部は弱く屈折し、やや内湾気味で張っている。元屋敷系高杯から屈折柱状脚高杯への移行期における、過渡期的様相をもつとみられる。

遺構の時期は、出土遺物から古墳時代前期中葉新相～後葉古相(草刈2式新相～3式古相期)と考えられる。

#### SI005 (第8図、図版6)

**形状**：楕円形? **規模(上端)**：(長軸×短軸) 4.42×(1.78)m **深さ**：約0.69m

**床面面積(壁溝含む)**：(6.082) m<sup>2</sup> **主軸方向**：N-48°-W

東調査区の南部に位置し、南東側が調査区外である。遺構は確認面より上層から掘り込まれる。床面の状態は良好で、硬化面が全面に残存する。壁溝は南辺から南西コーナー部のみに巡り、一部上端に対してオーバーハングする。炉は長軸(0.7)m、短軸0.56m、深さ0.18mで、楕円形を呈すると考えられる。焼土が6cmほど堆積し、炉底面のロームは被熱により硬化している。焼土層上層には焼土粒を多量に含む極暗赤褐色土が10cmほど堆積する。柱穴はP1のみ検出された。深さは約0.70mである。また、柱穴を覆う貼床が残存しており、床面精査時に直径30cm程度の明瞭な柱痕跡が確認され、土層断面においてもほぼ垂直の痕跡が検出された。

出土遺物は、覆土下層で弥生土器が25点ほどみられた(第12図、図版7・8)。また、未掲載だが、覆土上層で古式土師器、下層で風化した石製品が出土し、全体的に土器細片が多数出土した。1は壺の底部である。床面直上で、土圧により潰れた状態で出土した。

遺構の時期は、出土遺物から弥生時代終末期(中台式期)と考えられる。

#### 土坑

##### SK001 (第8図)

**形状**：不整円形 **規模(上端)**：直径約0.4m **深さ**：約0.4m

西調査区の西部に位置し、北西側の一部が調査区外である。小規模なピットと考えられる。遺物は出土せず、遺構の時期は不明である。

##### SK002 (第8図、図版6)

**形状**：楕円形 **規模(上端)**：(長軸×短軸) 0.85×0.60m **深さ**：約0.2m

西調査区の西部に位置する。遺物は出土せず、遺構の時期は不明である。

##### SK003 (第9図)

**形状**：不整円形 **規模(上端)**：直径約0.3m **深さ**：約0.25m

西調査区の西部に位置する。小規模なピットで、遺物は出土せず、遺構の時期は不明である。

##### SK004 (第9図、図版6)

**形状**：不整円形 **規模(上端)**：直径約0.3m **深さ**：約0.27m

西調査区の中央部に位置する。小規模なピットで、SK005・SK006とピット群を形成する。  
遺物は、覆土中から古式土師器の甕の口縁部片が出土した(第12図、図版8)。遺構の時期は、出土遺物から古墳時代前期(草刈式期)と考えられる。

#### SK005 (第9図、図版6)

**形状：**楕円形 **規模(上端)：**(長軸×短軸)0.30×0.20m **深さ：**約0.12m

西調査区の中央部に位置する。小規模なピットで、SK004・SK006とピット群を形成する。遺物は出土せず、遺構の時期は不明であるが、SK004との関係から古墳時代前期の可能性はある。

#### SK006 (第9図、図版6)

**形状：**不整円形 **規模(上端)：**直径約0.4m **深さ：**約0.11m

西調査区の中央部に位置する。小規模なピットで、SK004・SK005とピット群を形成する。遺物は出土せず、遺構の時期は不明であるが、SK004との関係から古墳時代前期の可能性はある。

#### SK007 (第9図、図版6)

**形状：**不整円形 **規模(上端)：**直径約0.55m **深さ：**約0.10m

西調査区の中央部に位置し、北東側のおよそ1/2が調査区外である。遺構は確認面であるソフトローム層より上層から掘り込まれており、実際の規模は現状より大きかったと推測される。また、焼土を多量に含んだ層が一部みられる。

遺物は、縄文時代の黒曜石製の石鏃片が底面直上から、弥生時代終末期(中台式)の壺の口縁部片が上層の焼土層内から出土した(第12図、図版8)。遺構の時期は、石鏃片から縄文時代と推測される。

#### SK008 (第9図)

**形状：**不整長方形 **規模(上端)：**(長軸×短軸)2.03×0.85m **深さ：**約0.14m

西調査区の中央部南側に位置し、SI001とSI002の中間に存在する。

遺物は、覆土中から弥生土器の壺の胴部片が出土した(第12図、図版8)。遺構の時期は、出土土器から弥生時代終末期(中台式期)と推測される。また、形状や規模から土坑墓の可能性も考えられる。

#### SK009 (第9図)

**形状：**不整円形 **規模(上端)：**直径約0.70m **深さ：**約0.25m

西調査区の東部に位置し、SI003の北東側に隣接する。遺物は出土せず、遺構の時期は不明であるが、SI003の付属施設の可能性がある。

#### SK010 (第9図、図版6)

**形状：**楕円形 **規模(上端)：**(長軸×短軸)1.10×0.65m **深さ：**約0.41m

西調査区の東部に位置する。遺物は出土せず、遺構の時期は不明である。

## SK011 (第9図)

形状：不整円形 規模(上端)：直径約1.85m 深さ：約0.19m

東調査区の南部に位置し、SI005の北西側に隣接する。底面の一部が攪乱で破壊されている。遺物は出土せず、遺構の時期は不明であるが、SI005の付属施設の可能性がある。

## 4 まとめ

今回、縄文時代の土坑1基、弥生時代終末期頃の竪穴建物跡3棟と土坑1基、古墳時代前期の竪穴建物跡2棟と土坑1基、時期不明土坑8基を検出した。

竪穴建物跡は、出土土器から、SI003(弥生時代後期後半～終末期)→SI001・005(弥生時代終末期)→SI002(古墳時代前期前葉～中葉古相)→SI004(古墳時代前期中葉新相～後葉古相)という変遷がうかがえ、竪穴建物がほぼ連続して営まれることが判明した。

弥生時代終末期頃に比定されるSI001・003・005では、3棟とも平面・断面上において柱痕跡が確認された。おそらく、上屋が未解体、もしくは柱の埋設部のみ残存した状態で廃絶に至ったと考えられる。さらに、壺形土器の上半部や下半部が床面直上から出土するという共通点がみられる。

古墳時代前期に比定されるSI002は、一辺が7mを超える比較的大型の焼失住居であり、床面直上から完形近くまで復元できる数個体の小型精製土器が出土している。上屋の焼却に際し廃棄されたと想定され、意図的に建物が燃やされた可能性がある。周辺遺跡では、下鈴野遺跡の08号住居跡が焼失住居で、床面直上から小型壺や小型丸底系鉢2個体、砥石2点が出土しており(大村1987)、SI002と共通する点がみられる。

最後に、今回の第3地点の調査によって、祭り野遺跡の集落が台地南側まで広がることが確認された。第1地点、第2地点の調査結果も踏まえると、弥生時代後期後半から古墳時代前期の集落が舌状台地全面に広がっていたと推測される。そうすると、潤ヶ広遺跡や下鈴野遺跡と同規模の集落が存在していた可能性が考えられる。また、弥生時代後期前半の土器片が数点みられることから、周辺に弥生時代後期前半の遺構が存在することも想定される。

今回の調査によって、祭り野遺跡の一端が判明した。今後、さらなる調査の進展によって、神崎川流域の弥生時代から古墳時代の様相が復原されることを期待したい。

### 引用参考文献

大村 直 1987『下鈴野遺跡』財団法人市原市文化財センター

大村 直 1991『市原市姉崎宮山遺跡・小田部向原遺跡・雲ノ境遺跡』財団法人市原市文化財センター

大村 直 2004「山田橋遺跡群および市原台地周辺地域の後期弥生土器」『市原市山田橋大山台遺跡』財団法人市原市文化財センター

大村 直 2009「南中台遺跡と周辺遺跡の土器編年」『市原市南中台遺跡・荒久遺跡A地点』市原市教育委員会

杉山晋作他 1972『小田部古墳の調査』古墳時代研究会

高橋康男 1994「東官台遺跡」『平成5年度市原市内遺跡発掘調査報告』財団法人市原市文化財センター

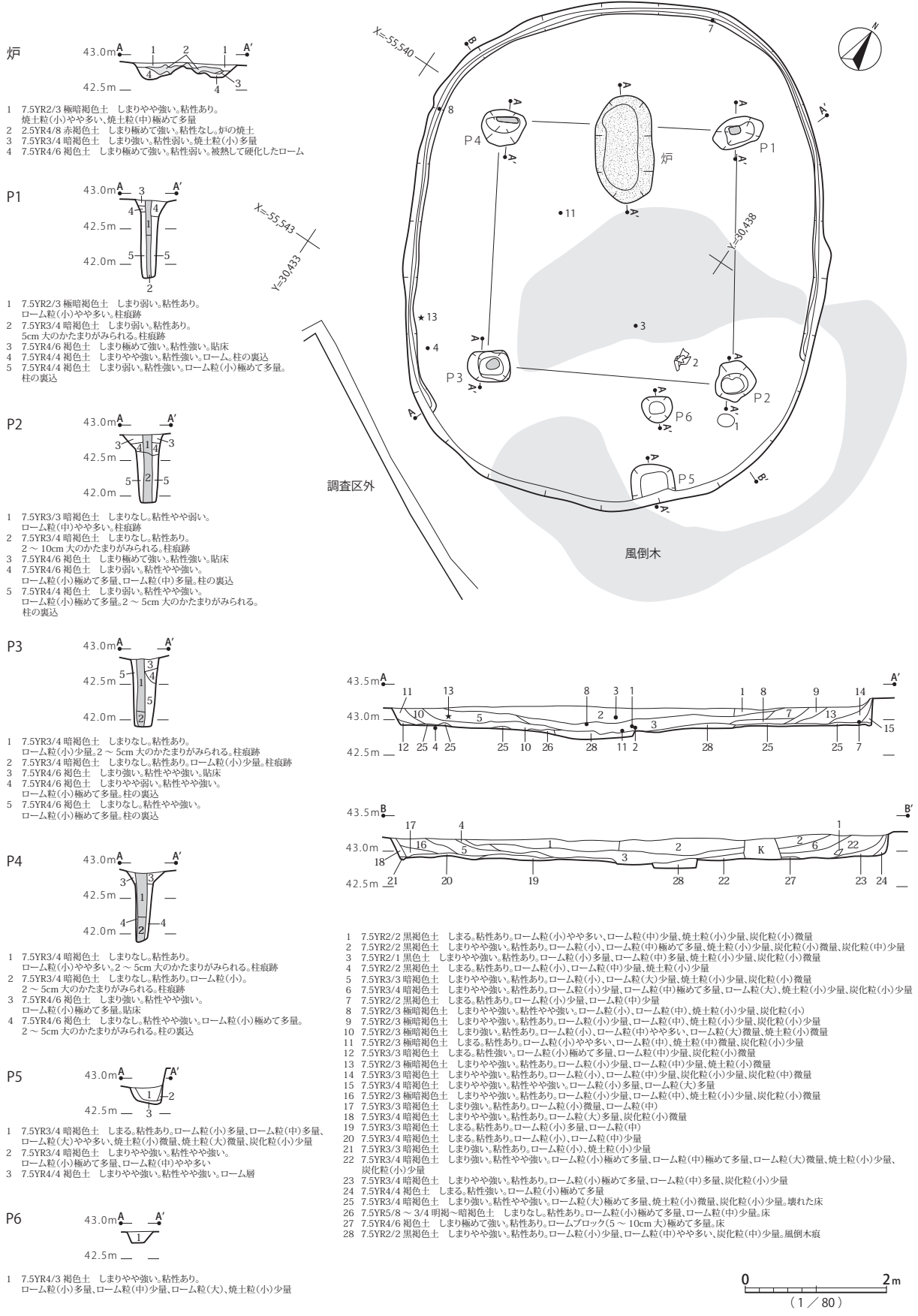
土屋治雄他 2003『市原市下鈴野遺跡』財団法人千葉県文化財センター

鶴岡 健他 2006『市原市中潤ヶ広遺跡(上層)』財団法人千葉県教育振興財団

祭り野遺跡・山王後1号墳発掘調査団 1982『千葉県市原市潤井戸地区 祭り野遺跡・山王後1号墳』

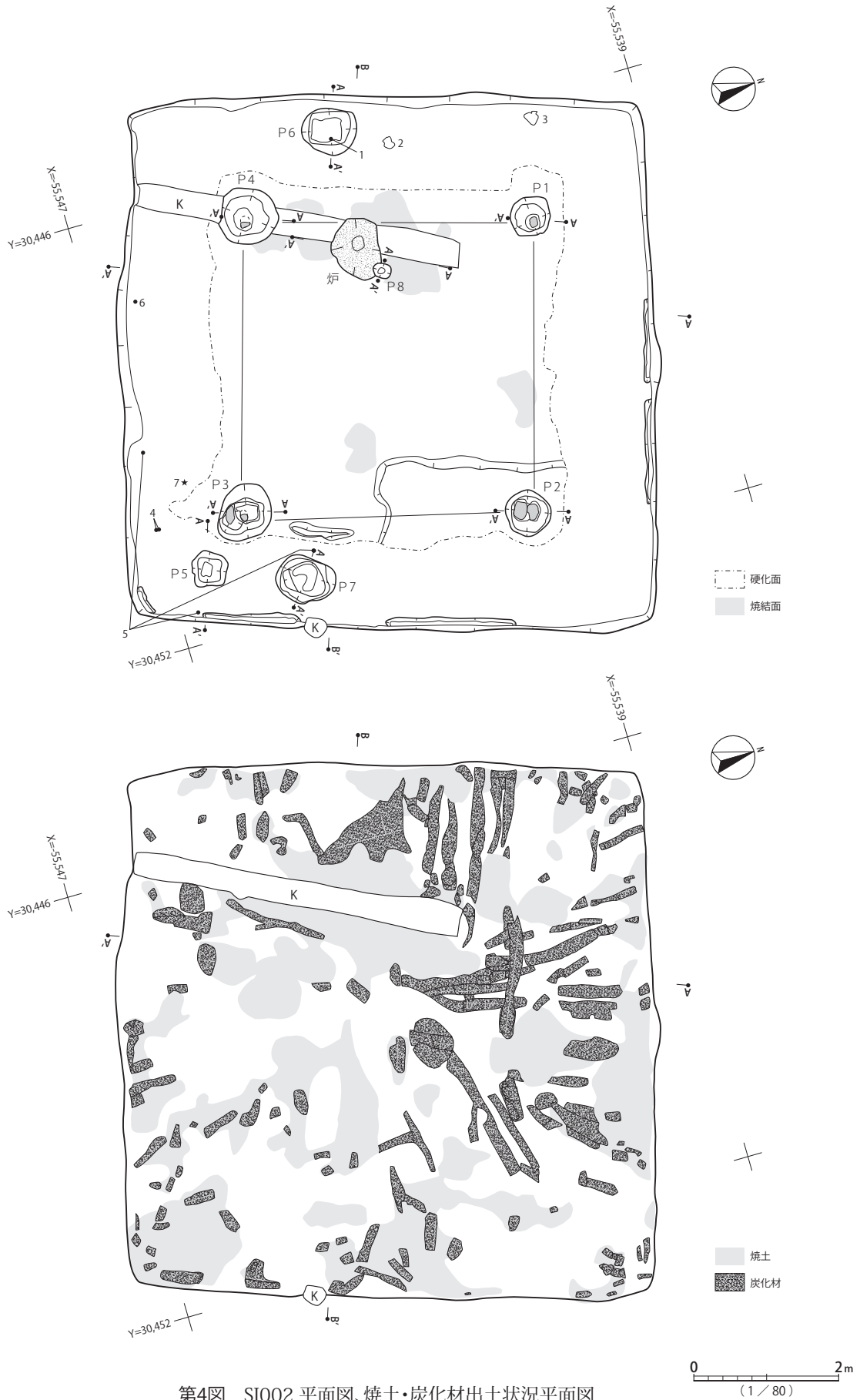
山口直樹 1984『千葉県市原市 小田部新地遺跡』財団法人市原市文化財センター

SI001



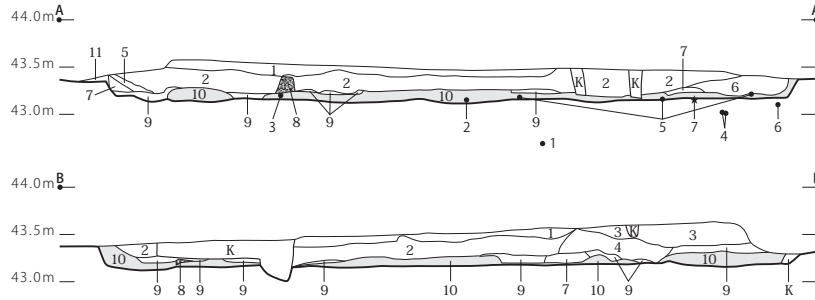
第3図 SI001 平面図・断面図

SI002

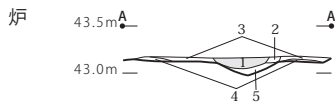


第4図 SI002 平面図、焼土・炭化材出土状況平面図

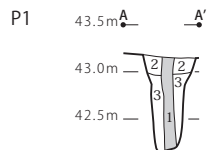
SI002



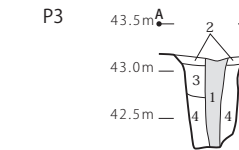
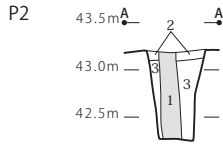
- 1 7.5YR2/3 極暗褐色土 しまりやや強い、粘性あり。ローム粒(小)、焼土粒(小)少量、炭化粒(小)微量
- 2 7.5YR3/3 暗褐色土 しまりやや強い、粘性あり。ローム粒(小)多量、ローム粒(中)多量、ローム粒(大)、焼土粒(小)少量、焼土粒(中)少量、炭化粒(小)少量
- 3 7.5YR3/3 暗褐色土 しまる。粘性あり。ローム粒(小)多量、ローム粒(中)少量、焼土粒(小)少量
- 4 7.5YR3/4 暗褐色土 しまり強い、粘性やや強い。ローム粒(小)極めて多量、ローム粒(中)多量、ローム粒(大)少量、炭化粒(小)少量。ローム粒がまだら状に入る。人為的な埋め戻し状
- 5 7.5YR3/3 暗褐色土 しまる。粘性あり。ローム粒(小)極めて多量、焼土粒(小)やや多い、炭化粒(小)
- 6 7.5YR3/3 暗褐色土 しまりやや強い、粘性あり。ローム粒(小)極めて多量、ローム粒(中)やや多い、焼土粒(小)少量、炭化粒(小)やや多い
- 7 7.5YR3/4 暗褐色土 しまる。粘性あり。ローム粒(小)極めて多量、ローム粒(中)多量、焼土粒(小)やや多い、炭化粒(小)極めて多量。壊れた炭化材を含む
- 8 7.5YR2/1 黒色土 炭化材
- 9 7.5YR3/4 暗褐色土 しまりやや強い、粘性あり。ローム粒(小)やや多い、ローム粒(中)やや多い、焼土粒(小)やや多い、炭化粒(小)やや多い
- 10 5YR2/4 極暗赤褐色土 しまる。粘性やや強い、ローム粒(小)多量、焼土粒(小)極めて多量、炭化粒(小)極めて多量、焼土 + 炭化材層
- 11 7.5YR2/2 黒褐色土 しまる。粘性あり。ローム粒(小)多量、炭化粒(小)多量



- 1 2.5YR4/6 赤褐色土 しまり強い、粘性なし。焼土粒(小)極めて多量、焼土粒(中)、焼土粒(大)少量、炭化粒(小)少量、柱の焼土
- 2 5YR2/2 黒褐色土 しまり強い、粘性弱い。ローム粒(小)、焼土粒(小)やや多い、炭化粒(小)多量
- 3 2.5YR3/6 暗赤褐色土 しまり極めて強い、粘性なし。焼土粒(小)極めて多量、焼土ブロック(2~5cm 大)多量、床焼結面
- 4 7.5YR4/4 褐色土 しまり強い、粘性強い、ローム粒(小)極めて多量、ソフトローム層
- 5 5YR3/6 暗赤褐色土 しまり極めて強い、粘性なし。焼土粒(小)多量、炭化粒(小)少量、被熱して硬化したローム

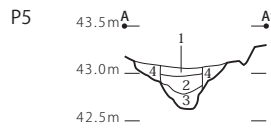
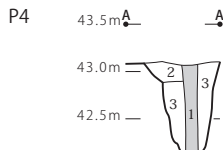


- 1 7.5YR2/2 黒褐色土 しまりなし、粘性あり。ローム粒(小)、焼土粒(小)少量、炭化粒(小)極めて多量、柱痕跡
- 2 7.5YR4/4 褐色土 しまり極めて強い、粘性やや強い。ローム粒(小)極めて多量、ローム粒(中)少量、炭化粒(小)少量、ロームブロック(2cm 大)多量、貼床
- 3 7.5YR4/4 褐色土 しまり弱い、粘性強い。ローム粒(小)極めて多量、ローム粒(中)少量、炭化粒(小)少量、柱の裏込



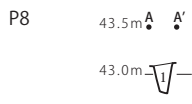
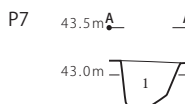
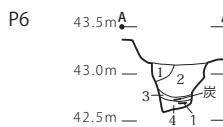
- 1 7.5YR2/2 黒褐色土 しまりなし、粘性あり。ローム粒(小)やや多い、ローム粒(中)少量、炭化粒(小)少量、炭化材多量、柱痕跡
- 2 7.5YR4/4 褐色土 しまり極めて強い、粘性やや強い。ローム粒(小)極めて多量、ローム粒(中)少量、炭化粒(小)少量、ロームブロック(2cm 大)多量、貼床
- 3 7.5YR4/6 褐色土 しまり強い、粘性強い、ローム粒(小)極めて多量、ローム粒(中)多量、ロームブロック(0.5~5cm 大)多量、柱の裏込

- 1 7.5YR3/4 暗褐色土 しまりなし、粘性あり。ローム粒(小)多量、ローム粒(大)少量、焼土粒(小)、炭化粒(小)多量、炭化材を含む、柱痕跡
- 2 7.5YR4/4 褐色土 しまり極めて強い、粘性やや強い。ローム粒(小)極めて多量、ローム粒(中)少量、炭化粒(小)少量、ロームブロック(2cm 大)多量、貼床
- 3 7.5YR4/4 褐色土 しまり強い、粘性やや強い、ローム粒(小)極めて多量、ローム粒(中)多量、ローム粒(大)少量、柱の裏込
- 4 7.5YR4/6 褐色土 しまり弱い、粘性強い、ローム粒(小)極めて多量、ローム粒(中)多量、ロームブロック(0.5~5cm 大)多量、柱の裏込



- 1 5YR3/2 暗赤褐色土 しまりなし、粘性弱い。ローム粒(小)やや多い、ローム粒(大)、焼土粒(小)多量、炭化粒(小)
- 2 7.5YR3/4 暗褐色土 しまる。粘性あり。ローム粒(小)多量、ローム粒(中)、焼土粒(小)多量、焼土粒(中)少量、炭化粒(小)
- 3 7.5YR3/4 暗褐色土 しまり強い、粘性強い、ローム粒(小)極めて多量、ローム粒(中)多量、ロームブロック(5~10cm 大)やや多い
- 4 7.5YR4/4 褐色土 しまり強い、粘性強い、ローム粒(小)多量、炭化粒(小)微量、ロームブロック(10cm 大)多量。住居の粗廻り

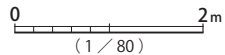
- 1 5YR3/2 暗赤褐色土 しまりなし、粘性弱い。ローム粒(小)やや多い、ローム粒(大)、焼土粒(小)多量、炭化粒(小)
- 2 7.5YR3/4 暗褐色土 しまる。粘性あり。ローム粒(小)多量、ローム粒(中)、焼土粒(小)多量、焼土粒(中)少量、炭化粒(小)
- 3 7.5YR3/4 暗褐色土 しまり強い、粘性強い、ローム粒(小)極めて多量、ローム粒(中)多量、ロームブロック(5~10cm 大)やや多い
- 4 7.5YR4/4 褐色土 しまり強い、粘性強い、ローム粒(小)多量、炭化粒(小)微量、ロームブロック(10cm 大)多量。住居の粗廻り



- 1 7.5YR3/2 暗赤褐色土 しまりやや弱い、粘性やや強い。ローム粒(小)まだら状、ローム粒(中)、焼土粒(小)、炭化粒(小)、炭化材(中)
- 2 7.5YR3/4 暗褐色土 しまる。粘性あり。ローム粒(小)やや少ない、ローム粒(中)やや少ない、焼土粒(小)やや多い、炭化粒(小)。炭化材を含む
- 3 7.5YR2/2 黒褐色土 しまり強い、粘性強い、ローム粒(小)多量、焼土粒(小)、炭化粒(小)多量、炭化材を多く含む
- 4 7.5YR4/6 褐色土 しまりやや強い、粘性強い、ローム粒(小)極めて多量、炭化粒(小)少量

- 1 7.5YR3/4 暗褐色土 しまりあり。粘性あり。ローム粒(小)多量、ローム粒(大)

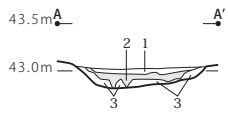
- 1 7.5YR2/2 黒褐色土 しまり弱い、粘性あり。ローム粒(小)、炭化粒(小)少量



第5図 SI002 断面図

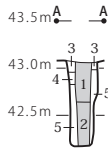
SI003

炉



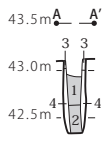
- 1 5YR3/4 暗褐色土 しまり強い、粘性あり、焼土粒(小)極めて多量、焼土粒(中)多量、炭化粒(小)
- 2 2.5YR4/8 赤褐色土 しまり極めて強い、粘性なし、焼土粒(小)極めて多量、炭化粒(小)微量、炉の焼土
- 3 7.5YR4/6 褐色土 しまり極めて強い、粘性なし、被熱して硬化したローム

P1



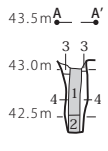
- 1 7.5YR3/4 暗褐色土 しまりなし、粘性あり、ローム粒(小)多量、ローム粒(中)少量、炭化粒(小)、柱痕跡
- 2 7.5YR4/4 褐色土 しまり強い、粘性強い、ローム粒(小)極めて多量、炭化粒(小)微量、柱痕跡
- 3 7.5YR4/6 褐色土 しまり極めて強い、粘性強い、ローム粒(小)極めて多量、炭化粒(小)微量、貼床
- 4 7.5YR4/6 褐色土 しまりやや強い、粘性強い、ローム粒(小)極めて多量、ローム粒(中)多量、炭化粒(小)微量、柱の裏込
- 5 7.5YR4/4 褐色土 しまりなし、粘性あり、ローム粒(小)極めて多量、ローム粒(中)多量、炭化粒(小)少量、2~5cm大のかたまりがみられる、柱の裏込

P2



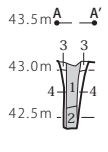
- 1 7.5YR4/4 褐色土 しまりなし、粘性やや強い、ローム粒(小)極めて多量、ローム粒(中)多量、炭化粒(小)多量、柱痕跡
- 2 7.5YR4/4 褐色土 しまりなし、粘性やや強い、ローム粒(小)極めて多量、ローム粒(中)多量、炭化粒(小)5cm大のかたまりがみられる、柱痕跡
- 3 7.5YR4/6 褐色土 しまり極めて強い、粘性やや強い、ローム粒(小)極めて多量、炭化粒(小)少量、貼床
- 4 7.5YR4/6 褐色土 しまりなし、粘性やや強い、ローム粒(小)極めて多量、炭化粒(小)少量、0.5~5cm大のかたまりがみられる、柱の裏込

P3



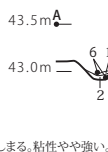
- 1 7.5YR3/3 暗褐色土 しまりなし、粘性あり、ローム粒(小)多量、ローム粒(中)多量、炭化粒(小)多量、柱痕跡
- 2 7.5YR4/4 褐色土 しまりなし、粘性やや強い、ローム粒(小)極めて多量、ローム粒(中)多量、ローム粒(大)やや多い、炭化粒(小)少量、1~5cm大のかたまりがみられる、柱痕跡
- 3 7.5YR4/6 褐色土 しまり極めて強い、粘性やや強い、ローム粒(小)極めて多量、炭化粒(小)少量、貼床
- 4 7.5YR4/6 褐色土 しまりなし、粘性やや強い、ローム粒(小)極めて多量、ローム粒(中)極めて多量、ローム粒(大)多量、焼土粒(大)微量、炭化粒(小)、0.5~10cm大のかたまりがみられる、柱の裏込

P4

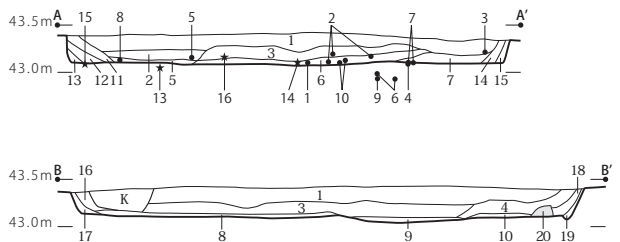
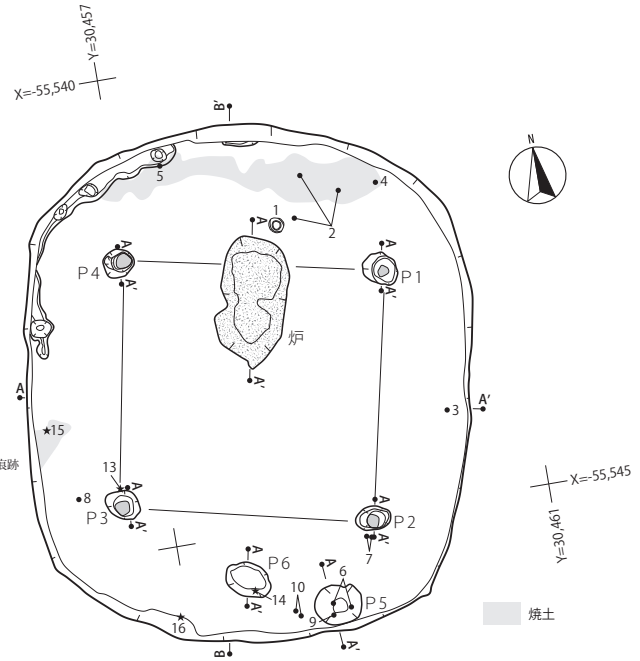


- 1 7.5YR3/3 暗褐色土 しまりなし、粘性あり、ローム粒(小)多量、ローム粒(中)多量、炭化粒(小)極めて多量、柱痕跡
- 2 7.5YR4/4 褐色土 しまりなし、粘性やや強い、ローム粒(小)極めて多量、ローム粒(中)多量、ローム粒(大)少量、炭化粒(小)少量、柱痕跡
- 3 7.5YR4/6 褐色土 しまり強い、粘性やや強い、ローム粒(小)極めて多量、ローム粒(大)多量、焼土粒(小)微量、炭化粒(小)少量、貼床
- 4 7.5YR4/6 褐色土 しまりなし、粘性やや強い、ローム粒(小)極めて多量、ローム粒(中)多量、ローム粒(大)少量、炭化粒(小)、柱の裏込

P5

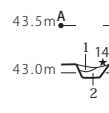


- 1 7.5YR3/3 暗褐色土 しまる。粘性やや強い、ローム粒(小)多量、ローム粒(中)多量、焼土粒(小)少量、炭化粒(小)少量
- 2 7.5YR4/3 褐色土 しまりやや強い、粘性やや強い、ローム粒(小)極めて多量、ローム粒(中)多量、焼土粒(小)少量、炭化粒(小)少量

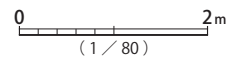


- 1 7.5YR3/4 暗褐色土 しまりやや強い、粘性あり、ローム粒(小)、ローム粒(中)、焼土粒(小)少量、炭化粒(小)少量
- 2 7.5YR3/3 暗褐色土 しまり強い、粘性あり、ローム粒(小)少量、ローム粒(中)、焼土粒(小)微量、炭化粒(小)少量
- 3 7.5YR2/3 極暗褐色土 しまりやや強い、粘性あり、ローム粒(小)、ローム粒(中)少量、ローム粒(大)やや多い、焼土粒(小)微量、炭化粒(小)少量
- 4 7.5YR3/4 暗褐色土 しまりやや強い、粘性あり、ローム粒(小)多量、ローム粒(中)やや多い、ローム粒(大)少量、焼土粒(小)やや多い、炭化粒(小)
- 5 7.5YR3/3 暗褐色土 しまり強い、粘性あり、ローム粒(小)やや多い、ローム粒(中)少量、まだら状、焼土粒(小)、炭化粒(小)
- 6 7.5YR2/2 黒褐色土 しまり強い、粘性あり、ローム粒(小)やや多い、ローム粒(中)やや多い、まだら状、焼土粒(小)少量、炭化粒(小)やや多い
- 7 7.5YR3/3 暗褐色土 しまり強い、粘性あり、ローム粒(小)やや多い、ローム粒(中)、焼土粒(小)微量、炭化粒(小)
- 8 7.5YR3/3 暗褐色土 しまり強い、粘性やや強い、ローム粒(小)多量、まだら状、ローム粒(大)、焼土粒(小)微量、炭化粒(小)少量
- 9 7.5YR2/3 極暗褐色土 しまりやや強い、粘性あり、ローム粒(小)少量、ローム粒(中)少量、ローム粒(大)微量、焼土粒(小)やや多い、焼土粒(中)やや多い、炭化粒(小)
- 10 7.5YR2/2 黒褐色土 しまり強い、粘性あり、ローム粒(小)やや多い、ローム粒(中)少量、ローム粒(大)微量、焼土粒(小)やや多い、炭化粒(小)多量
- 11 7.5YR3/3 暗褐色土 しまりやや強い、粘性あり、ローム粒(小)多量、ローム粒(中)、焼土粒(小)多量、焼土粒(中)少量、炭化粒(小)やや多い
- 12 7.5YR4/3 褐色土 しまり強い、粘性あり、ローム粒(小)極めて多量、ローム粒(中)少量、ローム粒(大)少量、炭化粒(小)微量
- 13 7.5YR4/4 褐色土 しまる。粘性やや強い、ローム粒(小)多量、ローム粒(中)
- 14 7.5YR3/3 暗褐色土 しまりやや強い、粘性あり、ローム粒(小)、ローム粒(中)少量
- 15 7.5YR4/3 褐色土 しまりやや強い、粘性やや強い、ローム粒(小)極めて多量、ローム粒(中)少量
- 16 7.5YR3/3 暗褐色土 しまる。粘性あり、ローム粒(小)多量、まだら状、炭化粒(小)少量
- 17 7.5YR4/4 褐色土 しまる。粘性やや強い、ローム粒(小)極めて多量、ブロック状、炭化粒(小)少量
- 18 7.5YR3/3 暗褐色土 しまりやや強い、粘性あり、ローム粒(小)やや多い、まだら状、ローム粒(中)少量、焼土粒(小)少量、炭化粒(小)少量
- 19 7.5YR4/3 褐色土 しまる。粘性やや強い、ローム粒(小)極めて多量、まだら状、炭化粒(小)少量
- 20 5YR3/6 暗赤褐色土 しまり極めて強い、粘性弱い、ローム粒(小)やや多い、まだら状、焼土粒(小)極めて多量、ブロック状、炭化粒(小)極めて多量、一部炭化材が混じる。焼土。人為的な堆積か

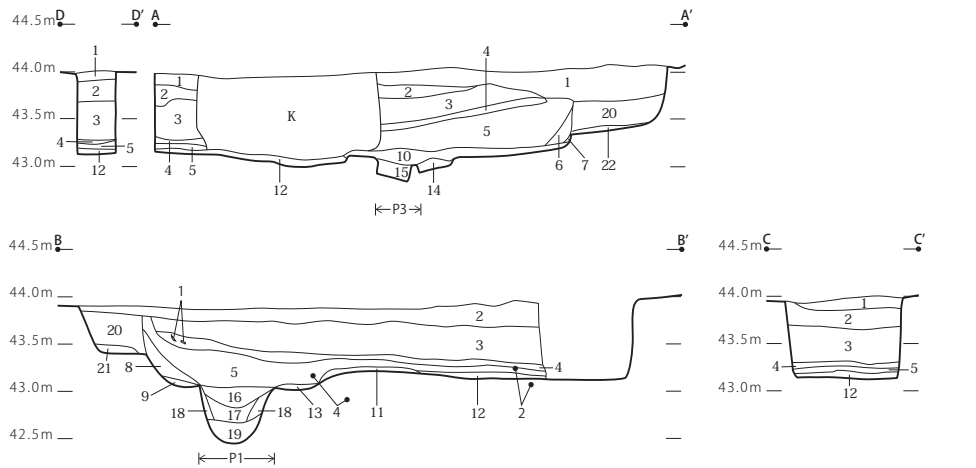
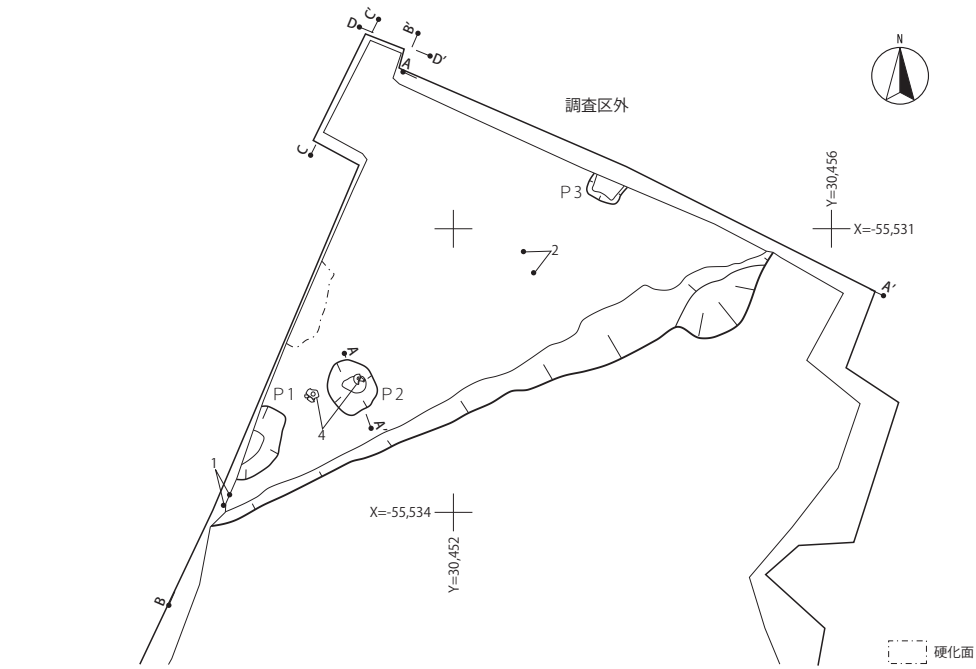
P6



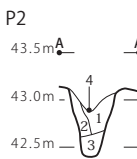
- 1 7.5YR3/4 暗褐色土 しまる。粘性やや強い、ローム粒(小)多量、まだら状、ローム粒(中)やや多い、黒色粒(小)やや多い、まだら状
- 2 7.5YR4/6 褐色土 しまる。粘性強い、ローム粒(小)極めて多量、ローム粒(中)多量、炭化粒(小)少量、ロームブロック(2~5cm大)



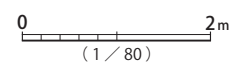
第6図 SI003 平面図・断面図



- 1 7.5YR3/1 黒褐色土 しまり弱い、粘性やや弱い、コンクリート片、ごみを含む。表土
- 2 7.5YR3/1 黒褐色土 しまる。粘性やや弱い、ローム粒(小)やや少ない、ローム粒(中)、焼土粒(小)、炭化粒(小)。炭化材がやや混じる
- 3 7.5YR2/2 黒褐色土 しまる。粘性あり、ローム粒(小)、ローム粒(大)微量、焼土粒(小)やや多い、焼土粒(中)少量、炭化粒(小)
- 4 7.5YR3/2 黒褐色土 しまりやや強い、粘性あり、ローム粒(小)やや多い、ローム粒(中)、ローム粒(大)微量、焼土粒(小)少量、炭化粒(小)少量
- 5 7.5YR3/4 暗褐色土 しまり強い、粘性やや強い、ローム粒(小)多量、ローム粒(中)多量、ローム粒(大)微量、焼土粒(小)少量、焼土粒(大)微量、炭化粒(小)少量
- 6 7.5YR3/3 暗褐色土 しまる。粘性あり、ローム粒(小)、ローム粒(中)少量、焼土粒(小)微量、炭化粒(小)少量
- 7 7.5YR3/4 暗褐色土 しまる。粘性やや強い、ローム粒(小)多量・まだら状
- 8 7.5YR3/2 暗褐色土 しまる。粘性あり、ローム粒(小)、ローム粒(中)少量、焼土粒(小)微量、炭化粒(小)少量
- 9 7.5YR4/4 褐色土 しまりやや強い、粘性強い、ローム粒(小)多量・まだら状、炭化粒(小)微量
- 10 7.5YR3/4 暗褐色土 しまり強い、粘性強い、ローム粒(小)多量、ローム粒(中)多量、炭化粒(小)微量、ロームブロック(2~5cm大)まだら状(壊れた床)
- 11 7.5YR3/3 暗褐色土 しまり極めて強い、粘性やや強い、ローム粒(小)、ローム粒(中)やや多い、炭化粒(小)微量、ロームブロック(0.5~2cm大)少量(壊れた床)
- 12 7.5YR4/4 褐色土 しまり強い、粘性極めて強い、ローム粒(小)極めて多量、炭化粒(小)微量
- 13 7.5YR3/4 暗褐色土 しまり強い、粘性あり、ローム粒(小)多量、ローム粒(中)、炭化粒(小)微量
- 14 7.5YR4/6 褐色土 しまり強い、粘性強い、ローム粒(小)極めて多量、ロームブロック(2~5cm大)。床の裏込め
- 15 7.5YR2/3 暗褐色土 しまる。粘性あり、ローム粒(小)多量、ローム粒(中)多量、炭化粒(小)微量
- 16 7.5YR2/3 極暗褐色土 しまる。粘性あり、ローム粒(小)少量、ローム粒(中)、ローム粒(大)少量、焼土粒(小)微量、炭化粒(小)微量
- 17 7.5YR3/3 暗褐色土 しまる。粘性やや強い、ローム粒(小)多量、ローム粒(中)やや多い、ローム粒(大)少量、焼土粒(小)少量、炭化粒(小)少量、ロームブロック(2cm大)少量
- 18 7.5YR3/3 暗褐色土 しまる。粘性やや強い、ローム粒(小)多量、ローム粒(中)、ローム粒(大)少量、ロームブロック(2~5cm大)微量、炭化粒(小)微量
- 19 7.5YR3/4 暗褐色土 しまり強い、粘性強い、ローム粒(小)やや多い、ローム粒(中)多量、ローム粒(大)少量、炭化粒(小)少量、ロームブロック(2~10cm大)
- 20 7.5YR3/3 暗褐色土 しまり強い、粘性やや強い、ローム粒(小)多量・まだら状
- 21 7.5YR3/2 黒褐色土 しまり強い、粘性あり、ローム粒(小)、ローム粒(中)少量、ローム粒(大)微量、焼土粒(小)微量、炭化粒(小)微量、ロームブロック(5cm大)微量
- 22 7.5YR4/6 褐色土 しまり強い、粘性極めて強い、ソフトローム層



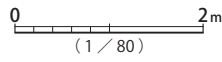
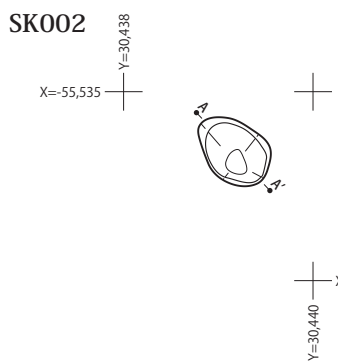
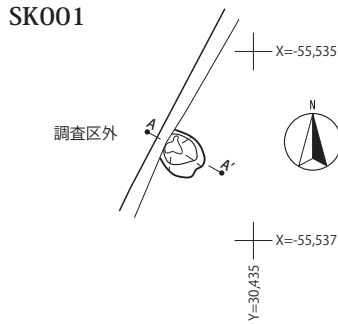
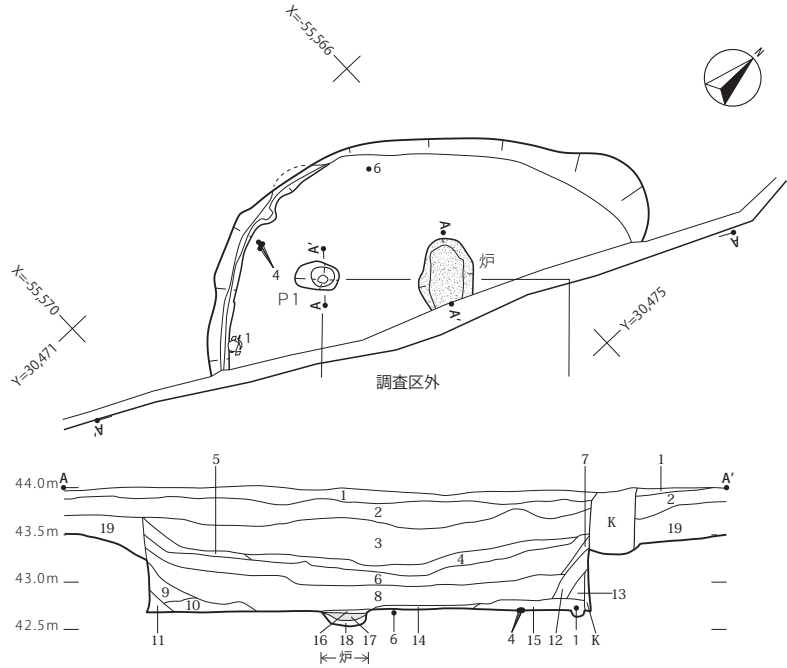
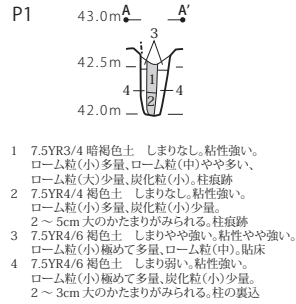
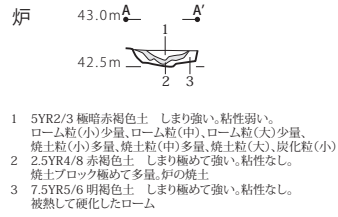
- 1 7.5YR2/3 極暗褐色土 しまる。粘性あり、ローム粒(小)、炭化粒(小)少量
- 2 7.5YR4/4 褐色土 しまりやや強い、粘性やや強い、ローム粒(小)極めて多量、ローム粒(中)少量、ローム粒(大)、焼土粒(小)微量、炭化粒(小)少量
- 3 7.5YR4/4 褐色土 しまり強い、粘性強い、ローム粒(小)極めて多量、ローム粒(中)やや多い、ローム粒(大)少量、炭化粒(小)少量、ロームブロック(2cm大)微量



第7図 SI004 平面図・断面図

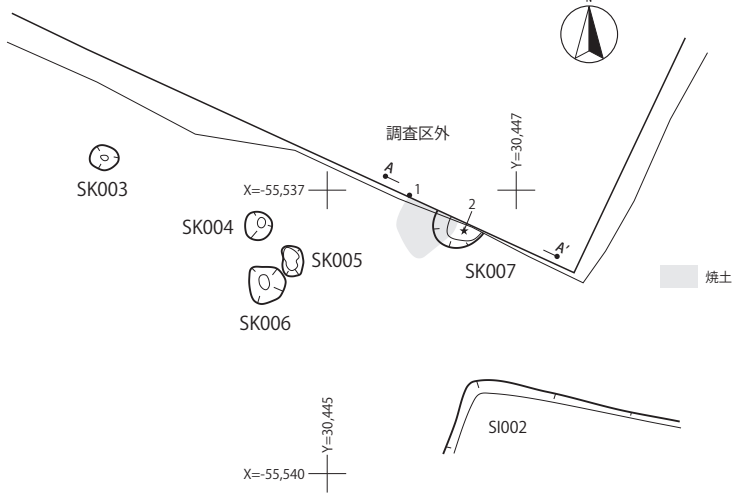


SI005

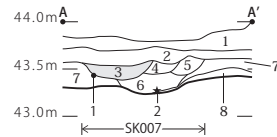


第8図 SI005 平面図・断面図、SK001・SK002 平面図・断面図

SK003・004・005・006・007

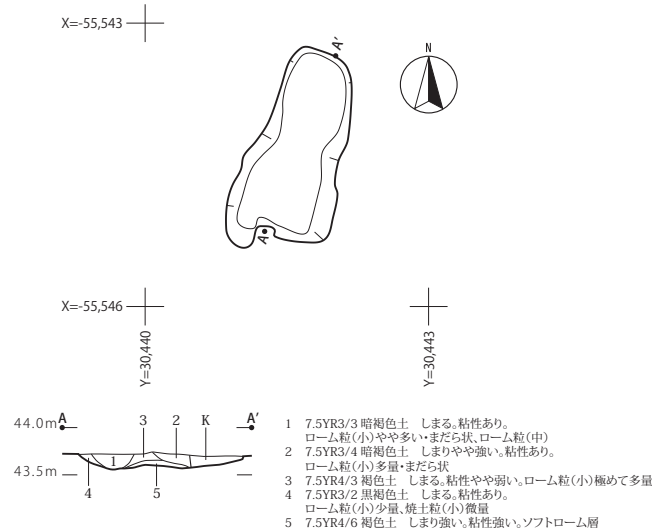


SK007

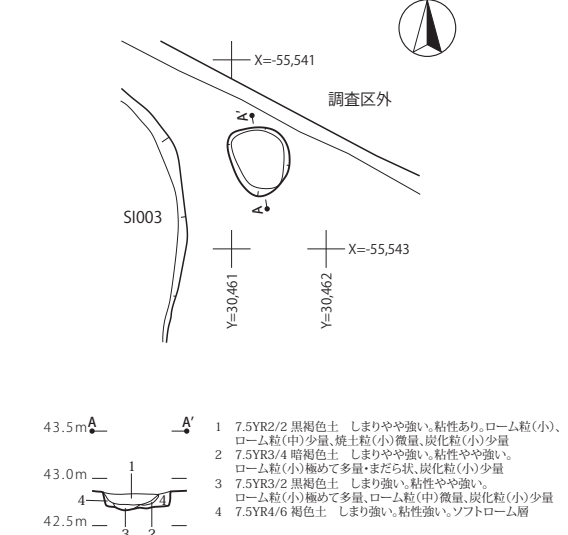


- 1 7.5YR2/2 黒褐色土 しまりなし、粘性なし、ローム粒(小)少量、ごみ混入。表土
- 2 7.5YR2/2 黒褐色土 しまる。粘性やや強い、ローム粒(小)、焼土粒(小)少量、ロームブロック(2~5cm 大)
- 3 5YR3/2 暗赤褐色土 しまる。粘性やや弱い、ローム粒(小)、焼土粒(小)少量、焼土粒(中)少量、炭化粒(小)
- 4 7.5YR3/2 暗褐色土 しまる。粘性あり、ローム粒(小)、ローム粒(中)、炭化粒(小)微量
- 5 7.5YR3/3 暗褐色土 しまり強い、粘性やや強い、ローム粒(小)やや多い、ローム粒(中)、ロームブロック(2~5cm 大)やや多い、まだら状
- 6 7.5YR3/2 暗褐色土 しまり強い、粘性あり、ローム粒(小)やや多い、ローム粒(中)少量、炭化粒(小)少量
- 7 7.5YR2/3 極暗褐色土 しまり強い、粘性あり。ローム粒(小)、ローム粒(中)少量、焼土粒(小)少量
- 8 7.5YR3/3 暗褐色土 しまり強い、粘性強い、ローム粒(小)多量、ロームブロック(5cm 大)多量・まだら状。ソフトローム・瀝移層

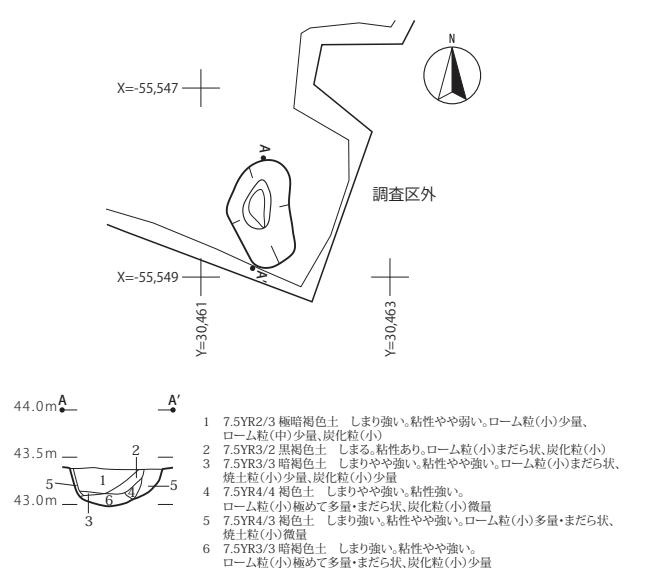
SK008



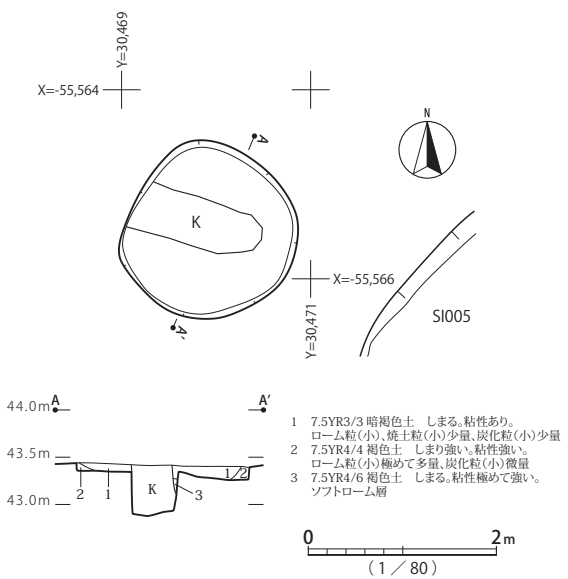
SK009



SK010

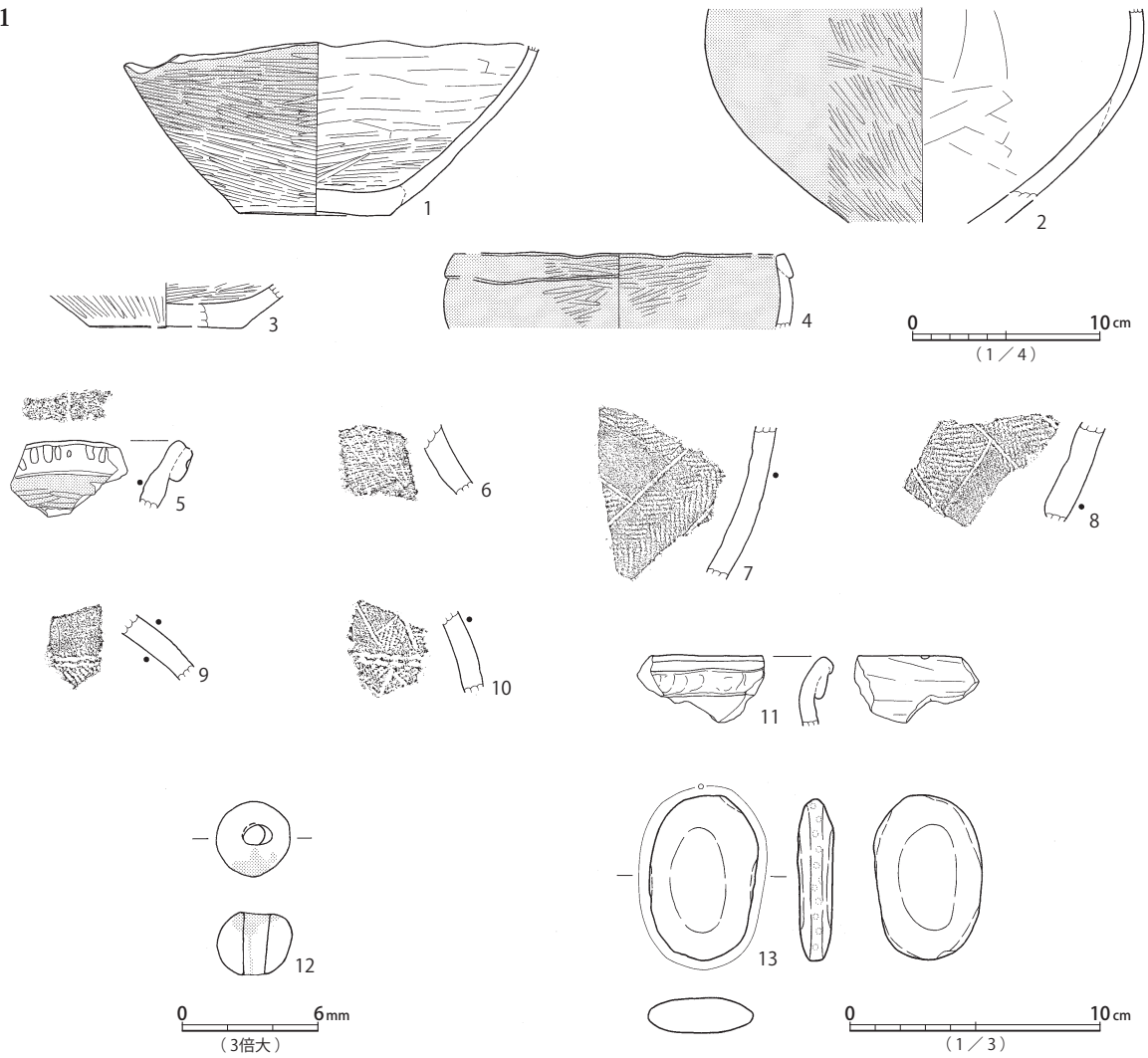


SK011

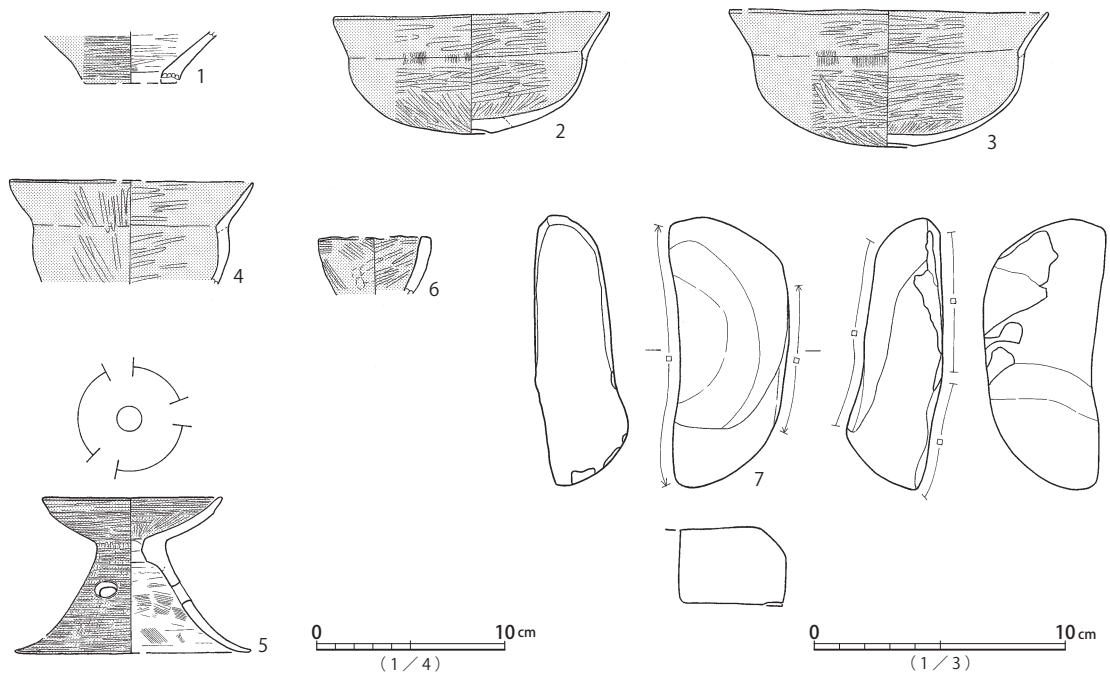


第9図 SK003~SK011 平面図・断面図

SI001

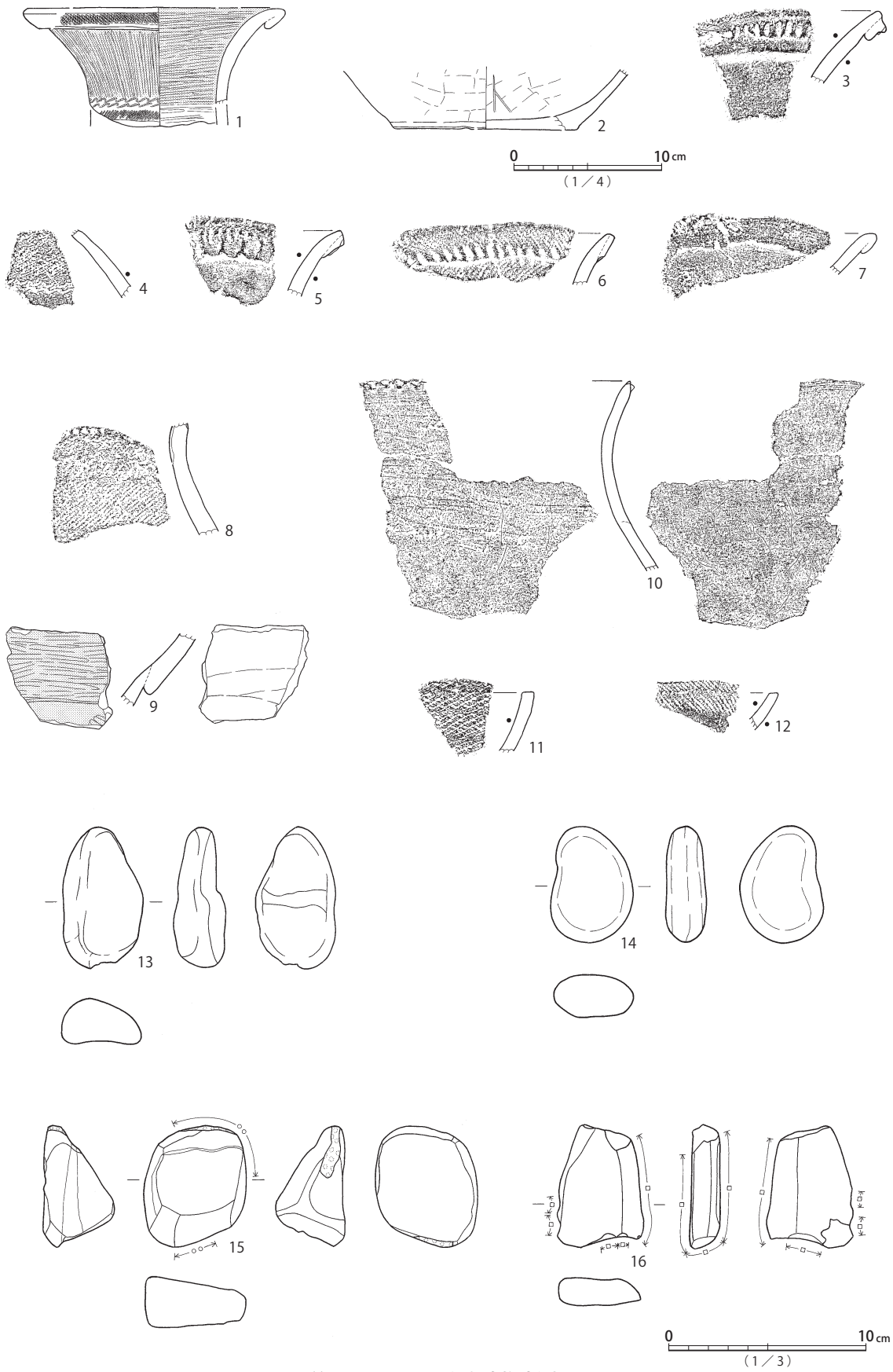


SI002



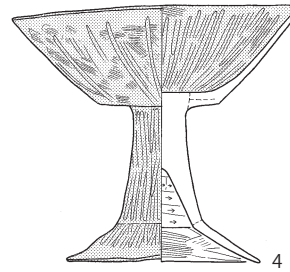
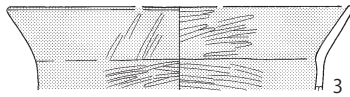
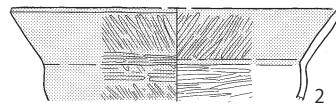
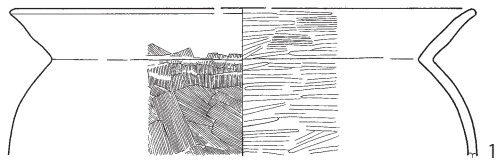
第10图 SI001・SI002 出土遺物実測図

SI003

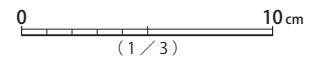
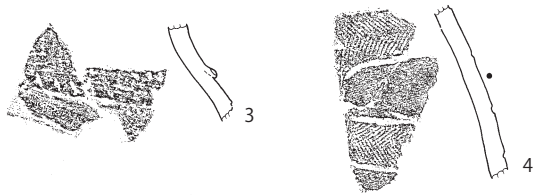
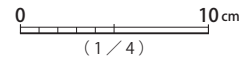
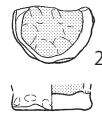
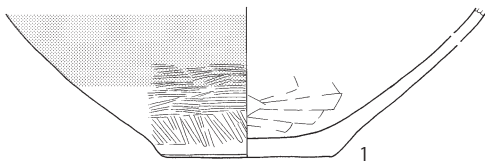


第11图 SI003 出土遺物実測図

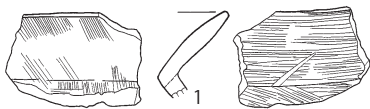
SI004



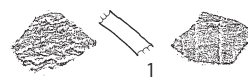
SI005



SK004



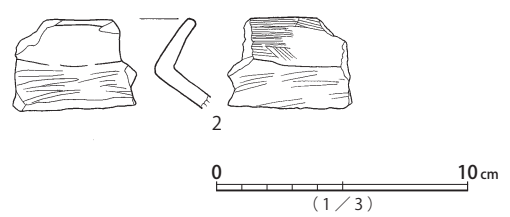
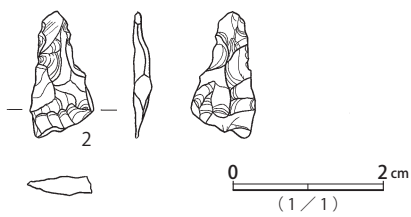
SK008



SK007



調査区一括



第12図 SI004・SI005・SK004・SK007・SK008・調査区一括 出土遺物実測図

第1表 出土土器観覧表 凡例：寸法の( )は現存値、は推定復元値を示す。

観覧No.	発掘No.	遺物注記	種別	器種	部位	遺存	口径	寸法 cm 器高 底径	その他	焼成	胎土	色調	外面	内面	特徴	内面	備考
10	7	1	S1001	弥生土器 甕 (転用鉢)	胴部～ 底部	40	—	(9.1)	8.2	良好	比較的精緻 白色粒[~2mm大・スコリア状](多)、黒色粒(少)、赤色粒(中)、長石・石英(中)、雲母(少)	2.5YR4/6 暗赤褐色・ 5YR2/1 黒褐色・ 5YR5/8 暗赤褐色・ 10YR2/1 黒色	胴部上方赤彩	胴部下部縦方向のヘラミガキ	中台式 転用鉢としては完形		
10	7	2	S1001	弥生土器 甕	胴部	40	—	(11.7)	—	やや軟	比較的精緻 白色粒[~2mm大・スコリア状](中)、黒色粒(少)、赤色粒[~2mm大・シャモット状](多)、長石・石英(中)、雲母(少)	2.5YR4/6 赤褐色・ 5YR3/4 赤褐色・ 10YR6/6 明赤褐色	胴部縦方向のヘラミガキ	胴部縦方向のヘラミガキ	中台式		
10	7	3	S1001	弥生土器 甕	底部	10	—	(2.4)	8.07	良好	やや粗い、白色粒[~5mm大・スコリア状](多)、黒色粒(少)、赤色粒(少)、長石・石英(少)、雲母(少)	5YR3/3 暗赤褐色・ 7.5YR3/1 黒褐色	胴部縦方向のヘラミガキ	胴部縦方向のヘラミガキ	中台式 反転復元		
10	7	4	S1001	弥生土器 小型甕	胴部	10	17.67	(3.9)	—	良好	やや粗い、白色粒[~2mm大・スコリア状](多)、赤色粒(中)、長石・石英(少)、雲母(中)	5YR4/4 赤褐色・ 5YR4/6 赤褐色	胴部縦方向のヘラミガキ	胴部縦方向のヘラミガキ	中台式 反転復元		
10	7	5	S1001	弥生土器 甕	胴部	小片	—	(2.6)	—	良好	比較的精緻 白色粒[~2mm大・スコリア状](多)、赤色粒(中)、長石・石英(中)、雲母(中)	2.5YR4/6 赤褐色・ 7.5YR6/6 褐色・ 10YR3/1 黒褐色	胴部縦方向のヘラミガキ	胴部縦方向のヘラミガキ	入ヶ原・山田横式		
10	7	6	S1001	弥生土器 甕	頸部	小片	—	(2.8)	—	やや軟	比較的精緻 白色粒[~2mm大・スコリア状](多)、赤色粒(中)、長石・石英(中)、雲母(中)	7.5YR6/6 褐色	頸部加味3種(黒銅文LR+黒銅文L)	頸部縦方向のヘラミガキ	頸部縦方向のヘラミガキ	中台式	
10	7	7	S1001	弥生土器 甕	胴部	小片	—	(4.7)	—	良好	比較的精緻 白色粒[~2mm大・スコリア状](多)、黒色粒(中)、長石・石英(中)、雲母(中)	5YR5/6 明赤褐色	胴部縦方向のヘラミガキ	胴部縦方向のヘラミガキ	中台式 東部部系 8の同一個体か?		
10	7	8	S1001	弥生土器 甕	胴部	小片	—	(3.2)	—	良好	比較的精緻 白色粒[~5mm大・スコリア状](多)、黒色粒(中)、長石・石英(中)、雲母(中)	5YR5/6 明赤褐色	胴部縦方向のヘラミガキ	胴部縦方向のヘラミガキ	中台式 東部部系 7の同一個体か?		
10	7	9	S1001	弥生土器 甕	胴部	小片	—	(2.6)	—	良好	比較的精緻 白色粒[~2mm大・スコリア状](中)、黒色粒(中)、赤色粒(少)、長石・石英(中)、雲母(中)	5YR4/6 赤褐色	胴部縦方向のヘラミガキ	胴部縦方向のヘラミガキ	中台式		
10	7	10	S1001	弥生土器 甕	胴部	小片	—	(3.3)	—	良好	比較的精緻 白色粒[~2mm大・スコリア状](中)、黒色粒(中)、赤色粒(少)、長石・石英(中)、雲母(中)	5YR4/6 赤褐色・ 10YR8/4 浅黄褐色	胴部縦方向のヘラミガキ	胴部縦方向のヘラミガキ	中台式		
10	7	11	S1001	弥生土器 甕	胴部	小片	—	(2.7)	—	良好	比較的精緻 白色粒[~5mm大・スコリア状](多)、赤色粒(中)、長石・石英(中)、雲母(中)	10YR3/1 黒褐色	胴部縦方向のヘラミガキ	胴部縦方向のヘラミガキ	中台式		
10	7	1	S1002	弥生土器 古式土師器	胴部	小片	—	(2.9)	—	穿孔穴径 3.07	比較的粗雑 白色粒(多)、黒色粒(少)、赤色粒(少)、雲母(少)	10R4/6 赤色・ 2.5YR5/6 明赤褐色	胴部縦方向のヘラミガキ	胴部縦方向のヘラミガキ	草列1式 底面焼成穿孔 反転復元		
10	7	2	S1002	弥生土器 古式土師器	胴部	80	14.5	6.3	2.8	良好	硬片化後精緻 白色粒(多)、黒色粒(中)、雲母(中)、骨針(少)	2.5YR3/4 暗赤褐色・ 2.5YR4/8 赤褐色・ 7.5YR2/1 黒色	胴部縦方向のヘラミガキ	胴部縦方向のヘラミガキ	草列1式 反転復元		
10	7	3	S1002	弥生土器 古式土師器	胴部	40	16.77	7.2	2.5	良好	硬片化後精緻 白色粒(多)、黒色粒(少)、赤色粒(少)、雲母(少)	10R4/6 赤色・ 5YR3/2 明赤褐色・ 7.5YR2/1 黒色	胴部縦方向のヘラミガキ	胴部縦方向のヘラミガキ	草列1式 反転復元		
10	7	4	S1002	弥生土器 古式土師器	胴部	10	12.87	(5.4)	—	良好	比較的粗雑 白色粒(多)、赤色粒(中)、赤色粒(少)、雲母(中)	10R2/2 暗赤褐色・ 10R4/6 赤色・ 5YR6/8 赤褐色	胴部縦方向のヘラミガキ	胴部縦方向のヘラミガキ	草列1式 反転復元		
10	7	5	S1002	弥生土器 古式土師器	器底部～ 胴部	80	9.5	8.2	12.7	良好	硬片化後精緻 白色粒(多)、黒色粒(少)、赤色粒(少)、雲母(少)	10R2/2 黒色	胴部縦方向のヘラミガキ	胴部縦方向のヘラミガキ	草列1~2式古相 胴部のみ一部反転復元		
10	7	6	S1002	弥生土器 古式土師器	胴部	20	6.07	(3.0)	—	良好	比較的粗雑 白色粒(多)、赤色粒(中)、赤色粒(少)、雲母(中)	10R2/2 黒色	胴部縦方向のヘラミガキ	胴部縦方向のヘラミガキ	草列1式 反転復元		
10	7	1	S1003	弥生土器 古式土師器	胴部	20	17.07	(8.0)	—	良好	比較的粗雑 白色粒(多)、黒色粒(少)、赤色粒(少)、雲母(多)	2.5YR3/8 暗赤褐色・ 7.5YR3/1 黒褐色	胴部縦方向のヘラミガキ	胴部縦方向のヘラミガキ	山田横式 転用押器台か?		
10	7	2	S1003	弥生土器 古式土師器	胴部	10	—	(4.1)	12.47	やや軟	やや粗い、白色粒(中)、黒色粒(少)、赤色粒[~2mm大・シャモット状](多)、骨針(中)	10YR2/1 黒褐色	胴部縦方向のヘラミガキ	胴部縦方向のヘラミガキ	中台式 反転復元		
10	7	3	S1003	弥生土器 古式土師器	胴部	小片	—	(3.3)	—	良好	比較的粗雑 白色粒[~2mm大・スコリア状](中)、黒色粒(少)、赤色粒[~2mm大・シャモット状](多)、長石・石英(中)、雲母(中)	5YR4/3 に近い赤褐色・ 5YR4/6 赤褐色	胴部縦方向のヘラミガキ	胴部縦方向のヘラミガキ	入ヶ原式		
10	7	4	S1003	弥生土器 古式土師器	胴部	小片	—	(3.4)	—	良好	比較的粗雑 白色粒[~2mm大・スコリア状](多)、黒色粒(少)、赤色粒(中)、赤色粒(少)、長石・石英(中)、雲母(中)	5YR4/6 赤褐色	胴部縦方向のヘラミガキ	胴部縦方向のヘラミガキ	山田横式?		
10	7	5	S1003	弥生土器 古式土師器	胴部	小片	—	(3.5)	—	良好	粗い、白色粒(多)、黒色粒(中)、赤色粒(少)、長石・石英(中)、雲母(中)	10R4/6 赤色	胴部縦方向のヘラミガキ	胴部縦方向のヘラミガキ	山田横式?		
10	7	6	S1003	弥生土器 古式土師器	胴部	小片	—	(2.5)	—	軟	比較的粗雑 白色粒(多)、黒色粒(少)、赤色粒(少)、雲母(中)	7.5YR7/8 黄褐色	胴部縦方向のヘラミガキ	胴部縦方向のヘラミガキ	山田横式?		

種別	No.	No.	No.	遺物注記	種別	器種	部位	遺存	寸法 cm		形成	胎土	色澤		特徴	備考		
									口径	器高			底径	その他			外面	内面
11	8	7	SI003	セ 565 SI-3-23-24	弥生土器	広口壺	口縁～頸部	小片	—	(2.1)	—	比較的精緻 白色粒(多)・黒色粒(少)・赤色粒(少)・黒色粒(少)・赤色粒(多)・長石・石英(中)・雲母(中)・骨針(少)	5XR3/2 暗赤褐色・5XR5/6 明赤褐色	5XR3/2 暗赤褐色・5XR4/4 赤い・赤褐色	折返し口縁 口縁部横方向の指ナデ 頸部横方向の指ナデ後、縦方向のヘラミガキ	口縁部横方向の指ナデ 頸部横方向の指ナデ後、縦方向のヘラミガキ	山田橋式？	
11	8	8	SI003	セ 565 SI-3-51	弥生土器	広口壺	頸部	小片	—	(5.7)	—	やや粗い 白色粒(多)・黒色粒(少)・赤色粒(少)・黒色粒(多)・長石・石英(中)・雲母(中)・骨針(中)	10R4/1 赤色・5XR3/1 黒褐色・5XR4/4 赤い・赤褐色	10R4/1 赤色・5XR3/1 黒褐色・5XR4/4 赤い・赤褐色	胴部管状工具による刺突・練土工具による波状文・前部縦文 LR 赤彩？ 器面一部刺突	胴部横方向のヘラミガキ 赤彩？ 器面一部刺突	久ヶ原・山田橋式？	
11	8	9	SI003	セ 565 SI-3-70	弥生土器	広口壺	胴部	小片	—	(3.6)	—	比較的精緻 白色粒(中)・黒色粒(少)・赤色粒(少)・黒色粒(多)・長石・石英(中)・雲母(中)・骨針(中)	2.5XR4/6 赤褐色	2.5XR4/6 赤褐色	胴部管状工具による押圧痕(波状ノコギリ) 口縁部横方向の指ナデ 頸部横方向の指ナデ後、縦方向のヘラミガキ	胴部横方向の指ナデ 頸部横方向の指ナデ後、縦方向のヘラミガキ	山田橋式？	
11	8	10	SI003	セ 565 SI-3-42-43	弥生土器	甕	口縁～胴部	10	—	(9.7)	—	比較的精緻 白色粒(多)・黒色粒(中)・赤色粒(少)・黒色粒(多)・長石・石英(中)・雲母(中)・骨針(中)	2.5XR4/6 赤褐色・5XR4/4 赤い・赤褐色	2.5XR4/6 赤褐色・5XR4/4 赤い・赤褐色	口縁部横方向の指ナデ 頸部横方向の指ナデ後、縦方向のヘラミガキ	口縁部横方向の指ナデ 頸部横方向の指ナデ後、縦方向のヘラミガキ	山田橋式？	
11	8	11	SI003	セ 565 SI-3-括	弥生土器	鉢	口縁部	小片	—	(2.8)	—	比較的精緻 白色粒(中)・黒色粒(少)・赤色粒(少)・黒色粒(多)・長石・石英(中)・雲母(中)・骨針(中)	5XR4/3 赤い・赤褐色	5XR4/3 赤い・赤褐色	口縁部横方向の指ナデ 頸部横方向の指ナデ後、縦方向のヘラミガキ	口縁部横方向の指ナデ 頸部横方向の指ナデ後、縦方向のヘラミガキ	久ヶ原・山田橋式？	
11	8	12	SI003	セ 565 SI-3 D 括	弥生土器	鉢	口縁部	小片	—	(2.0)	—	比較的精緻 白色粒(中)・黒色粒(少)・赤色粒(少)・黒色粒(多)・長石・石英(中)・雲母(中)・骨針(中)	10R4/6 赤色	10R4/6 赤色	口縁部横方向の指ナデ 頸部横方向の指ナデ後、縦方向のヘラミガキ	口縁部横方向の指ナデ 頸部横方向の指ナデ後、縦方向のヘラミガキ	久ヶ原・山田橋式？	
12	8	1	SI004	セ 565 SI-4-3-4	古式土器	甕	口縁部	10	24.27	(7.3)	—	比較的精緻 白色粒(多)・黒色粒(中)・赤色粒(少)・黒色粒(多)・長石・石英(中)・雲母(中)・骨針(中)	10R2/1 黒色	10R2/1 黒色	口縁部横方向の指ナデ 頸部横方向の指ナデ後、縦方向のヘラミガキ	口縁部横方向の指ナデ 頸部横方向の指ナデ後、縦方向のヘラミガキ	草刈 2-3 式 反転式	
12	8	2	SI004	セ 563 9 ト 排弁一拵	古式土器	小型丸底甕	口縁部	20	17.37	(4.9)	—	比較的精緻 白色粒(中)・黒色粒(少)・赤色粒(少)・黒色粒(多)・長石・石英(中)・雲母(中)・骨針(中)	10R4/6 赤色	10R4/6 赤色	口縁部横方向の指ナデ 頸部横方向の指ナデ後、縦方向のヘラミガキ	口縁部横方向の指ナデ 頸部横方向の指ナデ後、縦方向のヘラミガキ	草刈 2-3 式 反転式	
12	8	3	SI004	セ 565 SI-4 方 括	古式土器	小型丸底甕	口縁部	10	18.07	(4.4)	—	比較的精緻 白色粒(中)・黒色粒(中)・赤色粒(少)・黒色粒(多)・長石・石英(中)・雲母(中)・骨針(中)	2.5XR4/8 赤褐色	2.5XR4/8 赤褐色	口縁部横方向の指ナデ 頸部横方向の指ナデ後、縦方向のヘラミガキ	口縁部横方向の指ナデ 頸部横方向の指ナデ後、縦方向のヘラミガキ	草刈 2-3 式 反転式	
12	7	4	SI004	セ 565 SI-4 排弁一拵	古式土器	高杯	杯部～底部	90	15.3	13.6	10.2	—	比較的精緻 白色粒(多)・黒色粒(中)・赤色粒(少)・黒色粒(多)・長石・石英(中)・雲母(中)・骨針(中)	10R5/8 赤色・5XR7/8 褐色・7.5XR4/1 褐色	10R5/8 赤色・5XR7/8 褐色・7.5XR4/1 褐色	口縁部横方向の指ナデ 頸部横方向の指ナデ後、縦方向のヘラミガキ	口縁部横方向の指ナデ 頸部横方向の指ナデ後、縦方向のヘラミガキ	草刈 2 式 反転式
12	7	1	SI005	セ 565 SI-5-28	弥生土器	壺	胴部～底部	30	—	(7.6)	8.9	—	比較的精緻 白色粒(多)・黒色粒(中)・赤色粒(少)・黒色粒(多)・長石・石英(中)・雲母(中)・骨針(中)	2.5XR4/8 赤褐色	2.5XR4/8 赤褐色	胴部横方向の指ナデ 頸部横方向の指ナデ後、縦方向のヘラミガキ	胴部横方向の指ナデ 頸部横方向の指ナデ後、縦方向のヘラミガキ	草刈 2-3 式 反転式
12	8	2	SI005	セ 565 SI-5 下 拵一拵	弥生土器	小型壺・手押土器	底部	10	—	(1.4)	4.2	—	比較的精緻 白色粒(中)・黒色粒(中)・赤色粒(少)・黒色粒(多)・長石・石英(中)・雲母(中)・骨針(中)	2.5XR4/8 赤褐色	2.5XR4/8 赤褐色	胴部横方向の指ナデ 頸部横方向の指ナデ後、縦方向のヘラミガキ	胴部横方向の指ナデ 頸部横方向の指ナデ後、縦方向のヘラミガキ	草刈 2-3 式 反転式
12	8	3	SI005	セ 565 SI-5 下 拵一拵	弥生土器	壺	頸部	小片	—	(3.8)	—	比較的精緻 白色粒(中)・黒色粒(中)・赤色粒(少)・黒色粒(多)・長石・石英(中)・雲母(中)・骨針(中)	10R4/6 赤褐色	10R4/6 赤褐色	胴部横方向の指ナデ 頸部横方向の指ナデ後、縦方向のヘラミガキ	胴部横方向の指ナデ 頸部横方向の指ナデ後、縦方向のヘラミガキ	草刈 2 式 反転式	
12	8	4	SI005	セ 565 SI-5-22-23-24-25	弥生土器	壺	頸部	小片	—	(6.9)	—	比較的精緻 白色粒(中)・黒色粒(中)・赤色粒(少)・黒色粒(多)・長石・石英(中)・雲母(中)・骨針(中)	10R4/6 赤褐色	10R4/6 赤褐色	胴部横方向の指ナデ 頸部横方向の指ナデ後、縦方向のヘラミガキ	胴部横方向の指ナデ 頸部横方向の指ナデ後、縦方向のヘラミガキ	草刈 2 式 反転式	
12	8	5	SI005	セ 565 SI-5 拵一拵	弥生土器	甕	口縁部	小片	—	(1.8)	—	比較的精緻 白色粒(中)・黒色粒(少)・赤色粒(多)・長石・石英(中)・雲母(中)・骨針(中)	2.5XR4/8 赤褐色	2.5XR4/8 赤褐色	胴部横方向の指ナデ 頸部横方向の指ナデ後、縦方向のヘラミガキ	胴部横方向の指ナデ 頸部横方向の指ナデ後、縦方向のヘラミガキ	草刈 2 式 反転式	
12	8	6	SI005	セ 565 SI-5-17	弥生土器	甕	頸部～口縁部	小片	—	(3.5)	—	比較的精緻 白色粒(中)・黒色粒(少)・赤色粒(多)・長石・石英(中)・雲母(中)・骨針(中)	2.5XR4/3 赤褐色	2.5XR4/3 赤褐色	胴部横方向の指ナデ 頸部横方向の指ナデ後、縦方向のヘラミガキ	胴部横方向の指ナデ 頸部横方向の指ナデ後、縦方向のヘラミガキ	草刈 2 式 反転式	
12	8	1	SK004	セ 565 P-10 拵一拵	古式土器	甕	口縁部	小片	—	(3.4)	—	比較的精緻 白色粒(多)・黒色粒(中)・赤色粒(少)・黒色粒(多)・長石・石英(中)・雲母(中)・骨針(中)	5XR2/2 暗赤褐色・5XR3/1 暗赤褐色	5XR2/2 暗赤褐色・5XR3/1 暗赤褐色	胴部横方向の指ナデ 頸部横方向の指ナデ後、縦方向のヘラミガキ	胴部横方向の指ナデ 頸部横方向の指ナデ後、縦方向のヘラミガキ	草刈 2 式 反転式	
12	8	1	SK007	セ 565 P-4 2 拵一拵	弥生土器	直口壺	口縁部	小片	—	(2.4)	—	比較的精緻 白色粒(中)・黒色粒(少)・赤色粒(多)・長石・石英(中)・雲母(中)・骨針(中)	2.5XR4/8 赤褐色	2.5XR4/8 赤褐色	胴部横方向の指ナデ 頸部横方向の指ナデ後、縦方向のヘラミガキ	胴部横方向の指ナデ 頸部横方向の指ナデ後、縦方向のヘラミガキ	草刈 2 式 反転式	
12	8	1	SK008	セ 563 6 ト レシテ SR-3	弥生土器	壺	胴部	小片	—	(1.7)	—	比較的精緻 白色粒(中)・黒色粒(少)・赤色粒(多)・長石・石英(中)・雲母(中)・骨針(中)	5XR4/4 赤い・赤褐色	5XR4/4 赤い・赤褐色	胴部横方向の指ナデ 頸部横方向の指ナデ後、縦方向のヘラミガキ	胴部横方向の指ナデ 頸部横方向の指ナデ後、縦方向のヘラミガキ	草刈 2 式 反転式	
12	8	1	SK009	セ 565 東副 西区-1 拵一拵	弥生土器	広口壺	胴部	小片	—	(4.2)	—	比較的精緻 白色粒(中)・黒色粒(少)・赤色粒(多)・長石・石英(中)・雲母(中)・骨針(中)	7.5XR3/1 黒褐色	7.5XR3/1 黒褐色	胴部横方向の指ナデ 頸部横方向の指ナデ後、縦方向のヘラミガキ	胴部横方向の指ナデ 頸部横方向の指ナデ後、縦方向のヘラミガキ	草刈 2 式 反転式	
12	8	2	SK009	セ 565 西副 西区-1 拵一拵	古式土器	甕	口縁部	小片	—	(3.7)	—	比較的精緻 白色粒(中)・黒色粒(中)・赤色粒(少)・黒色粒(多)・長石・石英(中)・雲母(中)・骨針(中)	7.5XR5/8 明褐色・10R4/1 褐色	7.5XR5/8 明褐色・10R4/1 褐色	胴部横方向の指ナデ 頸部横方向の指ナデ後、縦方向のヘラミガキ	胴部横方向の指ナデ 頸部横方向の指ナデ後、縦方向のヘラミガキ	草刈 2 式 反転式	

第2表 出土ガラス小玉・石製品観察表 凡例：寸法の( )は現存値を示す。

種別	No.	No.	No.	遺物注記	種別	材質	寸法 cm			特徴			
							長さ	短軸	厚さ		その他		
10	7	12	SI001	セ 565 SI-1 舟形玉	ガラス小玉	カリガラス	—	0.326	0.317	0.271	0.0332	孔幅上0.125 下0.093	淡青色透明(衝着) 引き伸ばし法によって製作 一部赤褐色を不透明のガラスが混入 意図的ではないと思われる 材質の判定は肉眼観察による
10	7	13	SI001	セ 565 SI-1 15 碇石	碇石	砂岩	6.50	4.20	1.35	66.4	—	—	表面に気泡上の細かい穴 側面全体に放射状
11	8	13	SI002	セ 565 SI-2-25 碇石	碇石	凝灰岩	10.70	4.45	3.05	22.59	—	—	平石状の底石 表面・裏面・左側面・右側面に放射状
11	8	14	SI003	セ 565 SI-3-52 礫	礫	真石	7.10	4.00	2.20	83.8	—	—	球状等に利用するための素材か？
11	8	14	SI003	セ 565 SI-3-46 礫	礫	砂岩	5.90	4.00	2.00	70.9	—	—	碇石等に利用するための素材か？
11	8	15	SI003	セ 565 SI-3-56 碇石	碇石	凝灰岩	6.10	5.10	2.55	120.3	—	—	表面に細かい穴 表面・左側面に放射状の 先めから右側面上側・後端面に強い放射状
11	8	16	SI003	セ 565 SI-3-47 碇石	碇石	砂岩	6.20	4.30	1.40	56.7	—	—	先め穴付 表面激しく摩滅 表・裏面に右側面に研削痕 左側面・後端面に2箇所ずつの研削痕 棒状の素材を研削した痕か？
12	8	2	SK007	セ 565 P-4-1 石籠	石籠	黒曜石	(1.60)	0.85	0.25	0.2	—	—	先側・右後端部穴付 表面全面に加工による刺突面が並ぶ

潤ヶ広遺跡

祭り野遺跡

○  
(第3地点)

神崎川

荻作遺跡群

○  
小田部古墳





西調査区(南東から)



東調査区(南西から)



調査前全景（南から）



西調査区調査前状況（南から）



東調査区調査前状況（北から）



西調査区表土掘削状況



東調査区表土掘削状況



SI001 調査風景



SI001 遺物出土状況（北から）



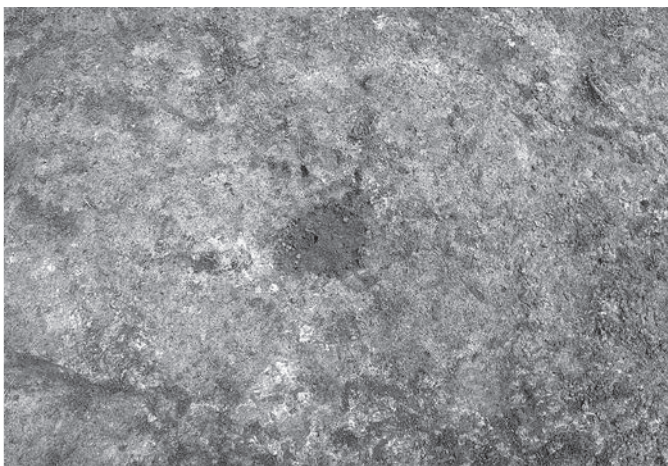
SI001 遺物1 出土状況（北西から）



SI001 遺物 1 出土状況 (南西から)



SI001 完掘状況 (南東から)



SI002・P1 柱痕跡 (南西から)



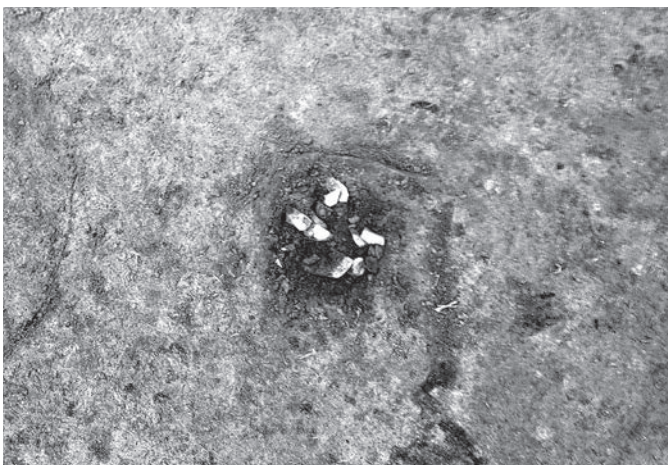
SI002 焼土・炭化材出土状況 (南西から)



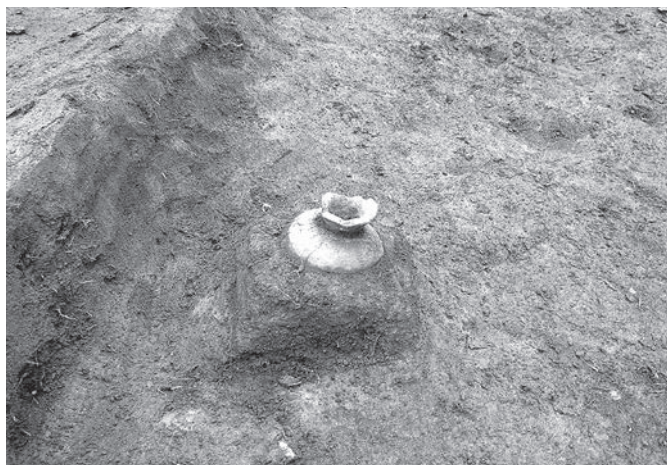
SI002 焼土・炭化材出土状況 (北東から)



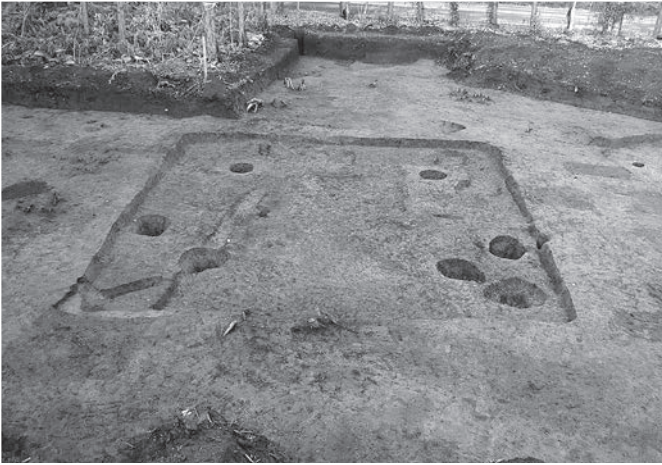
SI002 遺物出土状況 (南西から)



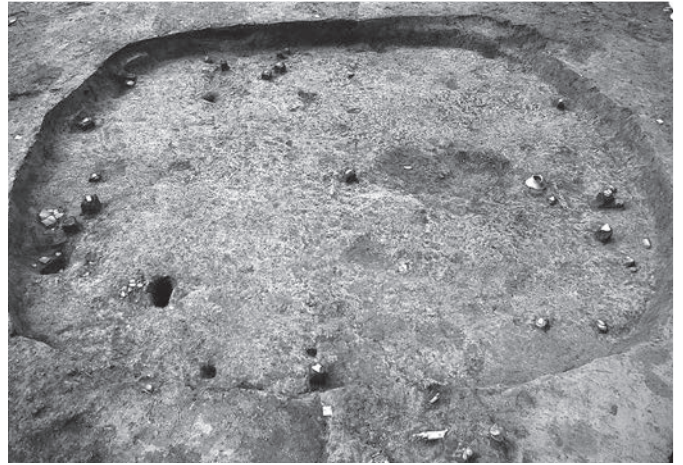
SI002 遺物 2 出土状況 (東から)



SI002 遺物 5 器受部出土状況 (東から)



SI002 完掘状況 (南西から)



SI003 遺物出土状況 (南東から)



SI003 遺物1 出土状況 (南西から)



SI003・P1 柱痕跡 (北西から)



SI003 完掘状況 (南西から)



SI004 遺物出土状況 (南東から)



SI004 遺物4 杯部出土状況 (南東から)



SI004 遺物4 脚部出土状況 (北東から)



SI004完掘状況(南東から)



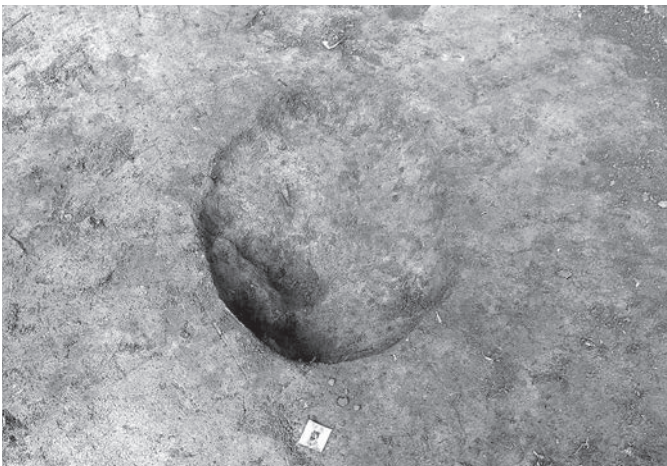
SI005遺物出土状況(北から)



SI005遺物1出土状況(北東から)



SI005完掘状況(北西から)



SK002完掘状況(南東から)



SK004・005・006完掘状況(南から)



SK007完掘状況(南西から)



SK010完掘状況(北西から)



SI001-1



SI002-3



SI004-4



SI001-2



SI002-5



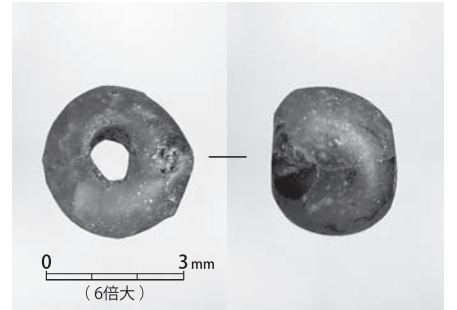
SI005-1



SI002-2



SI003-1



SI001-12

SI001



3



4



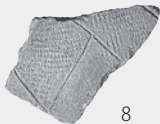
5



6



7



8



9



10

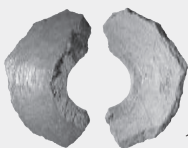


11



13

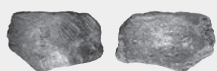
SI002



1



4

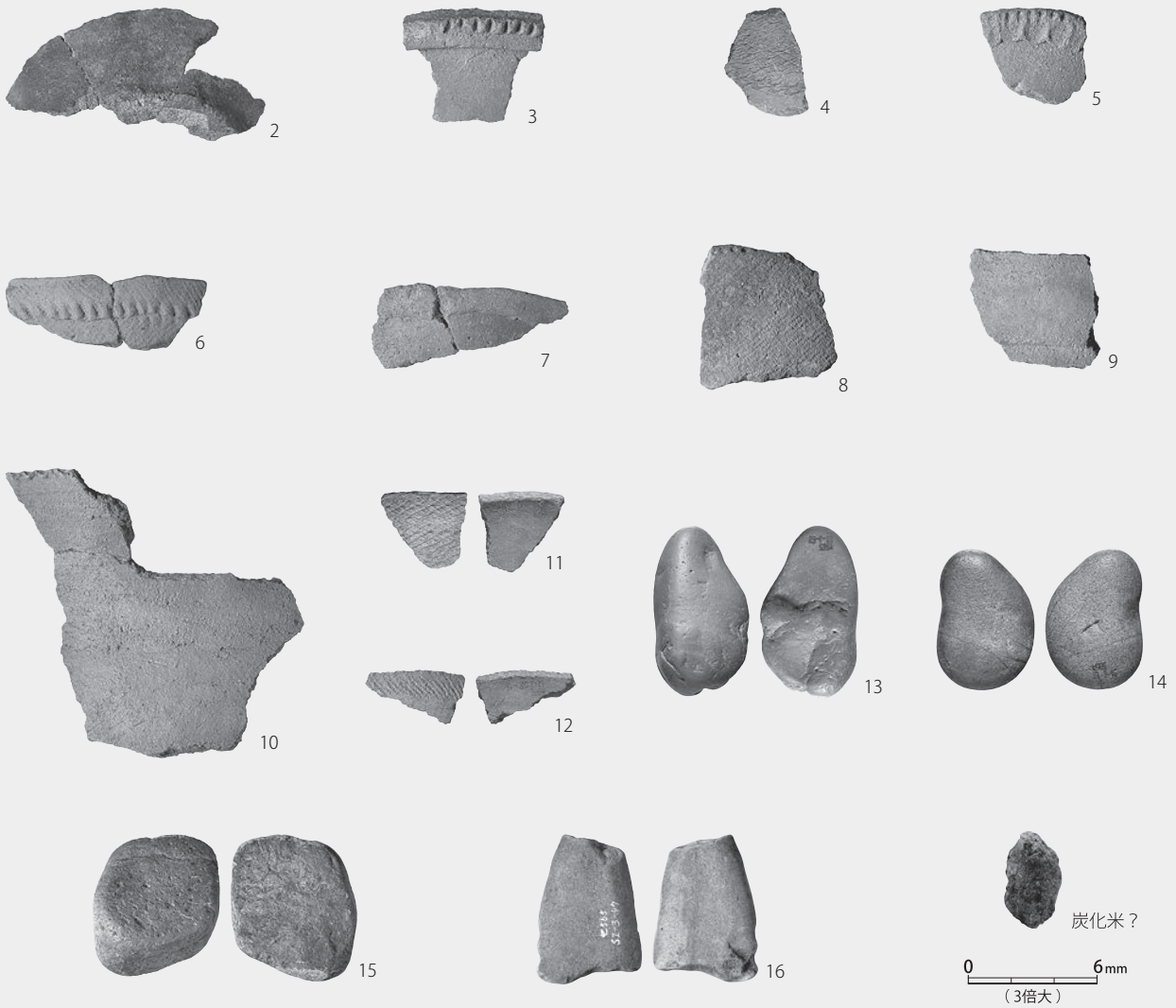


6

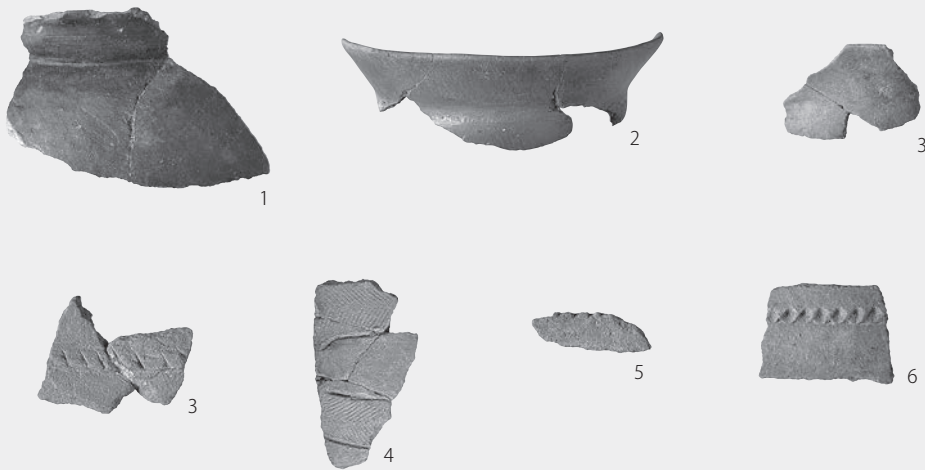


7

SI003



SI004



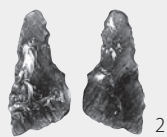
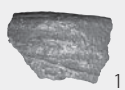
SI005



SK004



SK007



SK008



調査区一括



報告書抄録

ふりがな	いちはらしまつりのいせき(だい3ちてん)							
書名	市原市祭り野遺跡(第3地点)							
副書名								
巻次								
シリーズ名	市原市埋蔵文化財調査センター調査報告書							
シリーズ番号	第47集							
編著者名	齊木 誠							
編集機関	市原市教育委員会(市原市埋蔵文化財調査センター)							
所在地	〒290-0011 千葉県市原市能満1489番地 TEL 0436(41)9000							
発行年月日	2019年(平成31年)3月26日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		世界測地系		調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
まつりのいせき(だい3ちてん) 祭り野遺跡(第3地点)	いちはらしうるいどあざまつりの 市原市潤井戸字祭り野 2277番7	12219	828	35° 30' 07"	140° 09' 57"	20181030 ～ 20181221	586.77 本調査	太陽光発電所 変電設備設置
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
祭り野遺跡(第3地点)	包蔵地、 集落跡	縄文時代、 弥生時代、 古墳時代	縄文時代土坑1基、弥 生時代後期～終末期 竪穴建物跡3棟・土坑 1基、古墳時代前期 竪穴建物跡2棟・土坑 1基、時期不明土坑 8基	縄文時代石器、弥生 時代土器・石製品・ガ ラス小玉、古墳時代 土師器・砥石	今回の調査によって、第1地点、第2 地点で確認した集落の広がり が認められた。また、竪穴 建物内の炉からガラス小玉 が出土した。			
要約	祭り野遺跡は、神崎川右岸の標高44m程度の舌状台地上に位置している。今回は遺跡の南東側に位置する第3地点の調査を行い、弥生時代後期～終末期の竪穴建物跡3棟、古墳時代前期の竪穴建物跡2棟等を検出した。S1001・003・005では床面直上から壺の口縁部や底部が出土し、さらにS1001においては炉内覆土からガラス小玉が出土した。また、S1002は焼失住居であり、上屋の構築材が比較的良好な状態で残存していた。今回の調査によって、第1地点、第2地点で確認された集落の広がり が認められ、弥生時代後期後半から古墳時代前期後半まで継続して集落が営まれていたことが判明した。							

市原市埋蔵文化財調査センター調査報告書第47集

市原市祭り野遺跡(第3地点)

平成31年3月26日 発行

編 集 市原市埋蔵文化財調査センター  
千葉県市原市能満1489  
TEL 0436(41)9000

発 行 株式会社WIND-SMILE  
市原市教育委員会  
千葉県市原市国分寺台中央1-1-1  
TEL 0436(22)1111

印 刷 株式会社 弘文社  
千葉県市川市市川南2-7-2  
TEL 047(324)5977